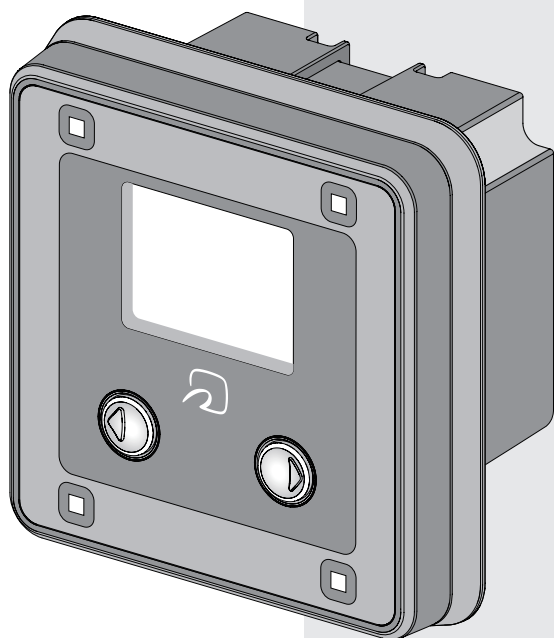


シンクライアント型マルチマネー端末

ME-10 システム

取扱説明書



もくじ

1	はじめに	2
2	重要事項	2
3	安全上のご注意	3
4	概 要	10
5	システム構成図	10
6	製品構成及び添付品	11
7	各部の名称とはたらき	12
8	取り付け時の必要事項	14
9	取り付け方法	14
10	各表示と状態について	16
11	保守モードのメニュー構成一覧図	18
12	設置手順	19
①	事前準備	19
②	取り付け	19
③	電源投入	19
④	設置時の操作手順	20
⑤	開店スイッチの操作	20
13	操作方法	21
①	商品の購入手順	21
1. 電子マネー決済		21
2. QRコード決済		26
②	残高確認（プリペイド方式の電子マネー）	31
③	締めスイッチの操作	32
④	単独締め処理の操作	34
14	一時停止処理	36
15	撤去処理	38
16	保 管	40
17	再設置	40
18	保守機能	41
①	保守機能の概要	41
②	保守機能の操作	41
③	通信モードの設定	42
④	音量調整	44
⑤	輝度設定	45
⑥	バックライト消灯機能の設定	47
⑦	ログ収集	51
⑧	ソフトウェア更新	52
⑨	情報確認	54
19	「故障かな？」と思ったら	59
20	日常のお手入れ	61
21	一般仕様	62
22	接続端子の信号条件	63
①	コネクタ仕様	63
23	外形寸法図	66
24	エラーコード表	69

- 使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

1 //はじめに

このたびは、シンククライアント型マルチマナー端末 ME-10（以下、本製品と表記します）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよく読んで、より安全で正しい操作でお使いください。

本製品に改造を加えて製品の構造を変更したり、他の目的に使用したりしないでください。本来の性能が発揮できないばかりか、本製品・身体・環境に損害を与える場合があります。

本製品は、日本国内専用品です。日本国外では使用できません。

本製品の故障・誤動作・不具合・あるいは停電・異常電流や電波などの外部要因によって通信・録音・通話料金管理・FAX 通信・データ通信・その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書のデータの使用に起因する第三者の特許権、および、その他の権利での損害については、弊社はその損害を負いかねます。

本書のイラストは一部実際と異なる場合があります。

本書の内容に関しましては、予告なく変更することがあります。

2 //重要事項

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本製品には、総務省の型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備が内蔵されています。本製品に内蔵されている誘導式読み書き通信設備に変更を加えることは、電波法令に違反することになり罰せられます。
- (4) 本製品は、特別に高い品質や信頼性が要求され、その故障や誤動作が人命を脅かす恐れのある機器（原子力制御機器、航空宇宙機器、医療機器など）で使用されることは想定しておりません。そのような用途での使用は、弊社はいかなる責任も負いかねます。
- (5) 本製品は、フラッシュメモリを搭載しています。ソフトウェア更新など、フラッシュメモリのデータ更新を行う時は、電源断が発生しないようにしてください。データ更新時に電源断が発生した場合は、本製品が故障する場合があります。（センドバック対象となります。）
- (6) 本製品のカード・携帯電話タッチ面に、金属成分を含むシール等を貼らないでください。金属成分が無線通信に悪影響をおよぼします。
- (7) 本製品を廃棄する場合は次の注意点を守ってください。
 - 廃棄の際は、産業廃棄物処理業者で破棄頂くようお願いいたします。
 - 廃棄の履歴を残し保管をお願いいたします。その際、廃棄によるサービスの解約申請を行うようお願いいたします。
- (8) 本製品が、万が一盗難、紛失にあった場合は速やかに弊社担当営業へご連絡ください。盗難、紛失したものが発見され再度利用頂く場合、設定のため有償での修理が必要になります。

3 / 安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、この説明書の指示に従って取り扱いください。

この取り扱い説明書には製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また本説明書は、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

■警告及び注意事項

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定される内容、または、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※取り扱いを誤り、傷害を負った場合は医師の診断を受けてください。

■絵記号の意味

	一 般	特定しない一般的な注意、警告、危険の表示に用います。
	一般（禁止）	特定しない一般的な禁止の表示に用います。
	一般（指示）	特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示に用います。
	分解禁止	分解することによって、傷害の可能性がある場合の禁止表示に用います。
	ぬれ手禁止	ぬれた手で触れることによって、傷害の可能性がある場合の禁止表示に用います。
	水ぬれ禁止	製品が水でぬれることによって、傷害の可能性がある場合の禁止表示に用います。
	接触禁止	機器の特定の場所に触れることによって傷害の可能性がある場合の禁止の表示に用います。
	感電注意	感電のおそれがあることを示します。
	発火注意	発煙または発火のおそれがあることを示します。
	挟まれ注意	指が挟まれ、けがを負うおそれがあることを示します。
	破裂注意	破裂または爆発のおそれがあることを示します。
	電源プラグ を抜く	本製品の電源を切断してください。 切断しないと火災や感電のおそれがあることを示します。



警告

 厳 守	本製品をお使いになる場合は、取扱説明書に記載してある警告、注意表示を厳守し、正しい手順でお使いください。正しい手順で操作しない場合、火災や感電の原因となります。
 厳 守	本製品に煙、臭い、異音、故障がある場合は、すぐに電源を切断し、修理を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
 厳 守	災害等で故障や水没した場合、必ず修理を依頼してください。修理せずに使用すると、火災や感電の原因となります。
 厳 守	本製品の修理依頼は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に依頼してください。ご自身で修理をした場合、誤動作や故障の原因となるばかりでなく、正常な資金決済が行えなくなる恐れがあります。
 厳 守	製品仕様書に記載されている使用条件（電源、使用温度範囲）を必ずお守りください。特に電源に過電圧、逆電圧が加わらないようにしてください。火災や感電の原因となります。
 厳 守	本製品を仮保持状態としたとき、本製品が不安定なので落下しないよう注意して作業してください。注意せず作業すると本製品が落下してケガの原因となります。
 禁 止	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や、機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込み、これらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
 禁 止	植込み型医療機器（心臓ペースメーカー等）装着者が使用する場合は、植込み型医療機器の装着部位を 12cm 以上離して使用してください。電波により影響を受けるおそれがあります。



警告



禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。誤動作や故障の原因になるだけでなく、発熱や発火の原因となるおそれがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 塩分の多い場所（海岸地区）
- 夏場の車内などの高温になる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力・電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 油の多い場所、油煙の発生する場所（工場、厨房、食品の店舗など）
- 傾いた場所など不安定な場所
- 静電気の影響の強い場所
- 保温、保湿性の高い物の近く
（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）



発火注意



感電注意



電源プラグ
を抜く

本製品の通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などの取り付け、取り外しの際は、次の注意をお守りください。守らないと火災や感電の原因となります。

- 本製品の電源を切断して電荷が完全に放電されてから、通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などの取り付け、取り外しを行う。
- 破損した通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などを使用しない。
- 通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などの接続がゆるんだまま使用しない。
- 通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などが汚れたまま使用しない。
- 通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などに踏む、重いものを乗せるなどの機械的なストレスを掛けない。
- 通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などは確実に取り付ける。
- 通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などを取り外すときは、ロックを外し、コネクタ部分を持って真っ直ぐに引く。
- コネクタピンの曲がり、破損、汚れがあるものは使用しない。
- ネジ止めなどのロックのある通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などは必ずロックする。



分解禁止

取扱説明書に記載されている部分を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。

誤動作や故障の原因となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。



警告



接触禁止

取付説明書に記載してある部分以外は、絶対に手を触れないでください。
感電、けがの原因となります。



禁止

本製品は、日本国内専用の製品です。海外では使用出来ません。



ぬれ手禁止

ぬれた手で本製品を扱わないでください。
火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本製品を水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所に取り付けしないでください。
火災や感電の原因となります。



可燃物禁止

シンナーなどの可燃物や可燃物ガス、揮発性の高いものを本製品の近くに置いたり使用したりしないでください。火災、爆発の恐れがあります。



感電注意



発火注意

製品に水などの液体、ピン、クリップ、針金や金属片などの異物を入れたり、差し込まないでください。火災や感電の原因となります。もし入ったときは、すぐ電源を切断して、ハーネスや、インターフェースケーブルなどを抜き、分解せずに販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。



発火注意

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。製品のプリント板が腐食し、故障および火災の原因となります。



注意



挟まれ注意

製品の取り付け、取り外しをする場合は、指を挟んだり、製品を足などに落下させないように注意して作業してください。注意せずに作業するとケガをする恐れがあります。



厳守

本製品は以下の点に注意して使用してください。注意せず使用すると、誤動作や故障の原因となります。

- 落下、衝撃、振動を加えないでください。
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かないでください。
- 本製品に接続している通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などを、むやみに取り外したりしないでください。取り外す場合は、必ず電源を切断してから行ってください。
- 本製品を結露させたまま使用しないでください。
- 本製品に不要な外力を加えないでください。
- グリス等の潤滑材を塗布しないでください。
- 本製品の制御部へ意図的に強い光を当てないでください。



厳守

本製品を機器に取り付け、取り外しの際は以下の点に注意してください。注意しないと、誤動作や故障の原因となります。

- 本製品を決められた機器以外に取り付けしないでください。
- 本製品を持つ時は、本体ユニットを持つようにしてください。コネクタ部に触れることや、通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などを持ってぶら下げのようなことはしないでください。
- 本製品は電子部品で構成されております。本製品の取り付け、取り外しの際は、作業する方の体から静電気を放電してください。
- 通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などの取り付け、取り外しは、上位接続機器（自動販売機等）の電源が切断されていることを確認してから行ってください。
- 添付品のネジを使用する時は、締め付けトルクを $1.5\text{N}\cdot\text{m}$ としてください。



厳守

本製品を屋外に設置する場合、扉を開けた時を含め、雨水等が製品に掛からない用に対応してください。対応しない場合、誤動作や故障する恐れがあります。



注意

 厳 守	寒い屋外から暖かい部屋に持ち込んだ時などは結露しやすいので、しばらく放置し温度をなじませてから使用してください。結露したまま使用すると誤動作や故障の原因となります。
 厳 守	長期間使用しないときは、通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類などを取り外してください。 接続したままにすると、誤動作や故障の原因となります。
 厳 守	本製品を移動するときは、電源を切断して、通信コネクタ、ハーネス、ケーブル類など取り外してください。電源を入れたまま移動すると、誤動作や故障の原因となります。
 厳 守	取り付け、日常のお手入れ、故障復旧の作業が終わりましたら、動作確認を行い異常がないことを確認してください。動作確認を行わないと異常を発見出来ず、資金決済が正常に行えない原因となります。
 厳 守	電子マネーによる決済処理中に、上位接続機器（自動販売機等）の電源を切ったり、上位接続機器（自動販売機等）の扉の開閉等の保守作業を行わないでください。 誤動作や故障の原因となるばかりでなく、正常な資金決済が行えなくなる恐れがあります。
 厳 守	情報表示部に「実行中、開局 / 閉局中、登録中」等の表示がされている間は、絶対に電源を切らないでください。 電源を切ると誤動作や故障の原因となります。
 禁 止	本製品に貼られている封印シールははがさないでください。はがした場合製品としての一切の保証ができなくなり、修理もお断りさせて頂く場合があります。
 厳 守	本製品は 13.56MHz 帯の電磁波を発する高周波利用設備です。航空機内や病院など電波利用が制限されている場所では使用しないでください。 高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。



注意



厳守

日常のお手入れの時、酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー系の溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変形や変色、故障の原因になります。



厳守

設置環境について

- 本製品の検証は、最終設置環境で行ってください。
- 本製品が発生する誘導磁界内に、妨害となる電磁的ノイズの発生源や、電波を遮断または反射する物体を配置した場合、通信特性に影響が出る可能性があります。
運用に問題がある場合は、設置環境の改善を行ってください。
- 他のリーダーライトを密接で配置する場合、相互の通信特性に影響が出る可能性があります。運用に問題がある場合、相互の間隔を広げて設置してください。
- 本製品を極度の振動、衝撃、落下および高温高湿環境が懸念される場所に設置する場合、十分に検証を行ってください。
- 本製品の近く(5cm 以内)に金属機器を置かないでください。非接触 IC カードとの通信に影響をおよぼす可能性があります。
- USB ポートには、USB ハブ、USB 延長ケーブルは使用しないでください。正しく認識されない場合があります。
- 外部モデムを使用する場合、専用ケーブルを利用してください。専用でないケーブルを使用した場合、誤動作の原因となります。

4 // 概 要

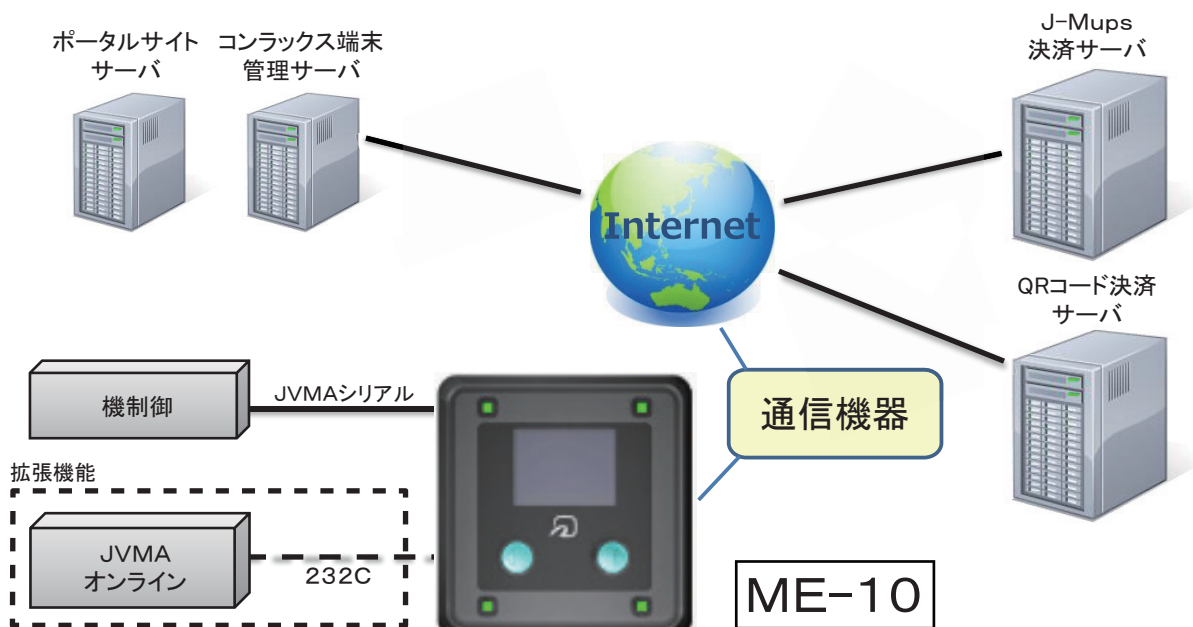
ME-10 シリーズ（以下本ユニットと称す）は、FeliCa サービスを利用可能にするシンクライアント型マルチマネー端末です。マルチマネー決済に安定したJR系シンクライアントシステムを採用しております。本ユニットは、FeliCa 通信・情報表示・選択ボタンを装備したタッチ部と、表示制御・主制御通信・データ保存を行う制御部の一体型ユニットです。

上位接続機器（自動販売機等）の主制御との通信は、JVMA 自販機シリアル通信を用います。電子マネー決済を行う場合は商品先選択方式等の制御をご使用ください。

本ユニットの電源（タッチ部、制御部）は、JVMA 自販機シリアル通信ラインの +24V、+8V の電源で動作します。

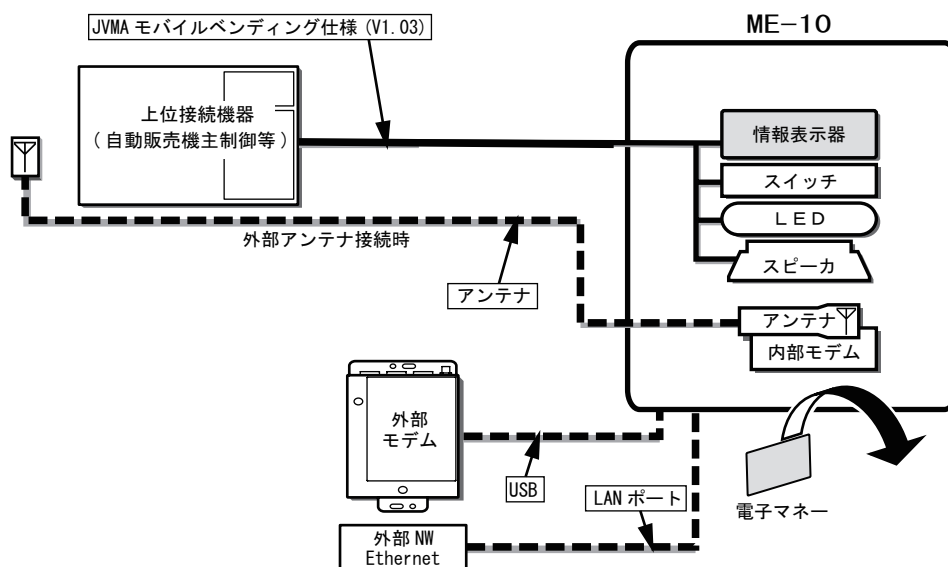
5 // システム構成図

●システム構成図



※J-Mupsは、三菱UFJニコス株式会社とJR東日本メカトロニクス株式会社が運営しているサービスです

●接続概念図



6 // 製品構成及び添付品

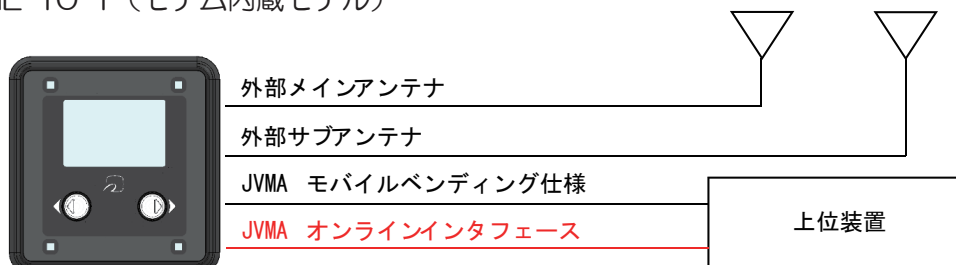
ME-10-□□



オプション区分

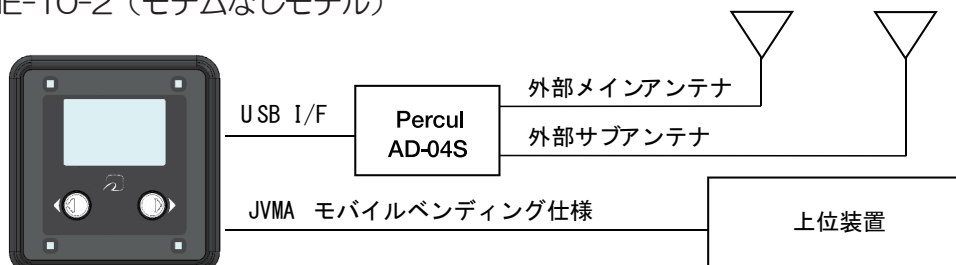
記号	オプション区分
1	モデム内蔵
2	モデムなし

• ME-10-1（モデム内蔵モデル）



※ JVMA オンラインインターフェースの対応の可否については、予め販売元に確認ください。

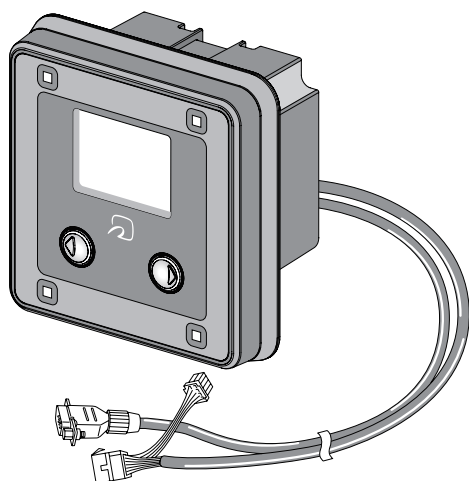
• ME-10-2（モデムなしモデル）



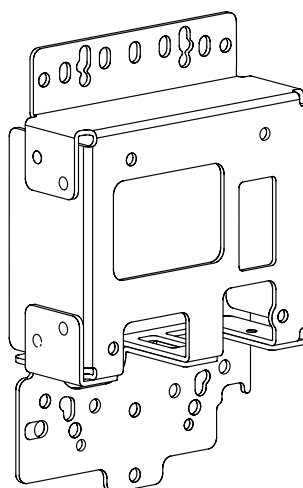
※本モデルで外部モデムを利用する場合は、指定のモデムをご準備ください。

※ ME-10-1/ME10-2 のいずれのモデルでも LAN 接続での利用ができます。

①ユニット本体 (ME-10-1 モデル)

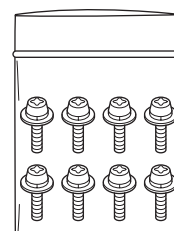


②取付ブラケット



③添付品

ユニット本体固定ネジ M4X15 黒色 4 本
 ブラケット固定ネジ S 型 M5X10 4 本
 ブラケット固定ネジ S 型 M4X8 4 本



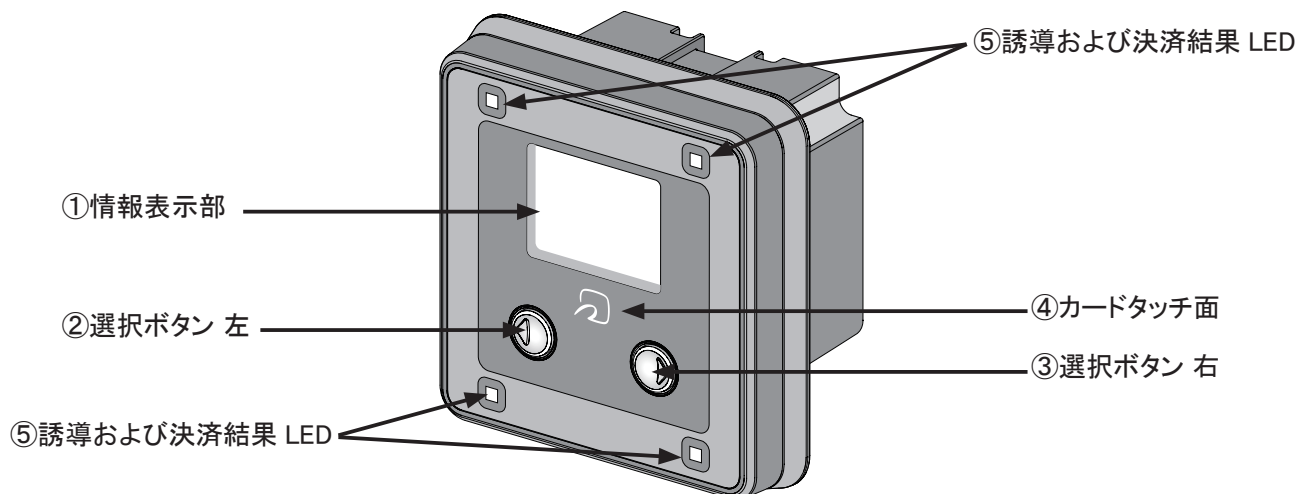
●工具、その他（お客様側で準備してください）

① (+) ドライバー 先端サイズ No2

②ネジ（上位接続機器（自動販売機等）の取付パネルの寸法に合わせたサイズ）、添付品ネジが使用不可の場合

7 // 各部の名称とはたらき

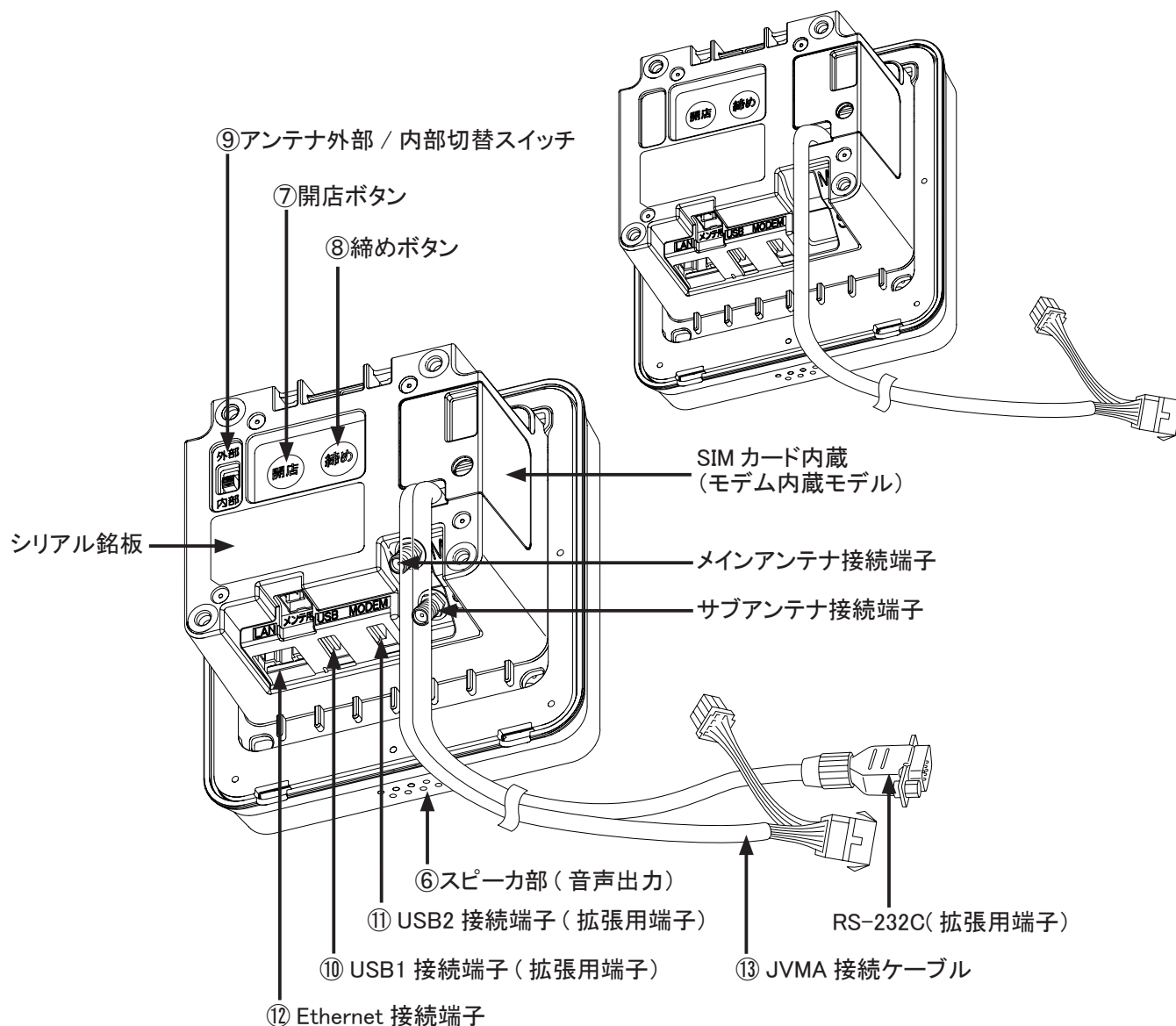
【ユニット正面】



【ユニット背面】

ME-10-1(モデム内蔵モデル)

ME-10-2(モデムなしモデル)



①情報表示部

LCD ディスプレイにより各種情報を表示します。

販売サービス時には電子マネーブランド名、金額情報などを表示します。

保守モード時には保守操作の手順や端末情報などを表示します。

②選択ボタン左

販売サービス時には電子マネーを選択するスイッチとして使用します。

保守モード時には各種保守機能を決定するスイッチとして使用します。

③選択ボタン右

販売サービス時には電子マネーを切り替えるスイッチとして使用します。

保守モード時には各種保守機能を切り替えるスイッチとして使用します。

④カードタッチ面（Felica マークの中心付近）

カード、おサイフケータイなどの検知部です。

ここにカード、おサイフケータイなどをタッチする事で決済を行います。

⑤誘導および決済結果 LED

カードタッチ面の四隅に光ります。

各種電子マネーに点灯や点滅をすることにより、操作や決済の状態を示します。

⑥音声出力

各種電子マネーに対応した音声や決済音及び各ボタン操作時の音声を出力します。

後述の保守機能の音量調節により、音量の調節が可能です。

⑦開店ボタン

短押しすると、開店処理を実施して販売サービスになります。

長押し（3 秒以上）することで「ピー」音が鳴動し、保守モード（保守機能操作を行う）に切り替わります。

いずれの場合も、待機画面以外での押下では機能しません。

⑧締めボタン

締め操作、長押し（3 秒以上）することで「ピー」音が鳴動し、締め処理が実行されます。

※上位機器により処理が異なる場合があります。

待機画面以外での押下では機能しません。

⑨アンテナ外部 / 内部切替スイッチ {モデム内蔵モデル (ME-10-1 のみ)}

内蔵モデム使用時のアンテナの切替スイッチです。

⑩ USB1 接続端子（拡張用端子）

保守用の USB メモリを接続します。

⑪ USB2 接続端子（拡張用端子）

外部モデムを接続します。

⑫ Ethernet 接続端子（LAN 接続端子）

LAN ケーブルを接続するための接続端子です。

⑬ JVMA 接続ケーブル

上位接続機器（自動販売機等）との通信と電源の供給を受けるためのコネクタです（JVMA 準拠）。

必ず上位接続機器（自動販売機等）の電源を切断してから抜き差ししてください。

8 // 取り付け時の必要事項

本製品は、上位接続機器（自動販売機等）に専用の取付ブラケットと添付のネジで取り付けることで、防犯に対する一定の破壊強度を確保しております。

取り付けには、上位接続機器側に開口部が必要になります。またあらかじめ以下の内容をご確認ください。

- ・上位接続機器側の開口部寸法を確認してください。必要な寸法については、66 ページの製品寸法を参照願います。
- ・取り付けにはネジが必要です。本ユニットと取付ブラケットを取り付けるには、添付の指定の黒いネジを使用ください。また、取付ブラケットを上位接続機器に取り付ける際には寸法に合わせてお客様側で準備ください。なお、取付用として2種類8本のネジを添付しております。

取り付けに必要な工具は、お客様側でご準備ください。

（必須となる工具：ドライバー（＋）No.2）

9 // 取り付け方法

※清涼飲料水（缶）の自動販売機への取り付け例です。

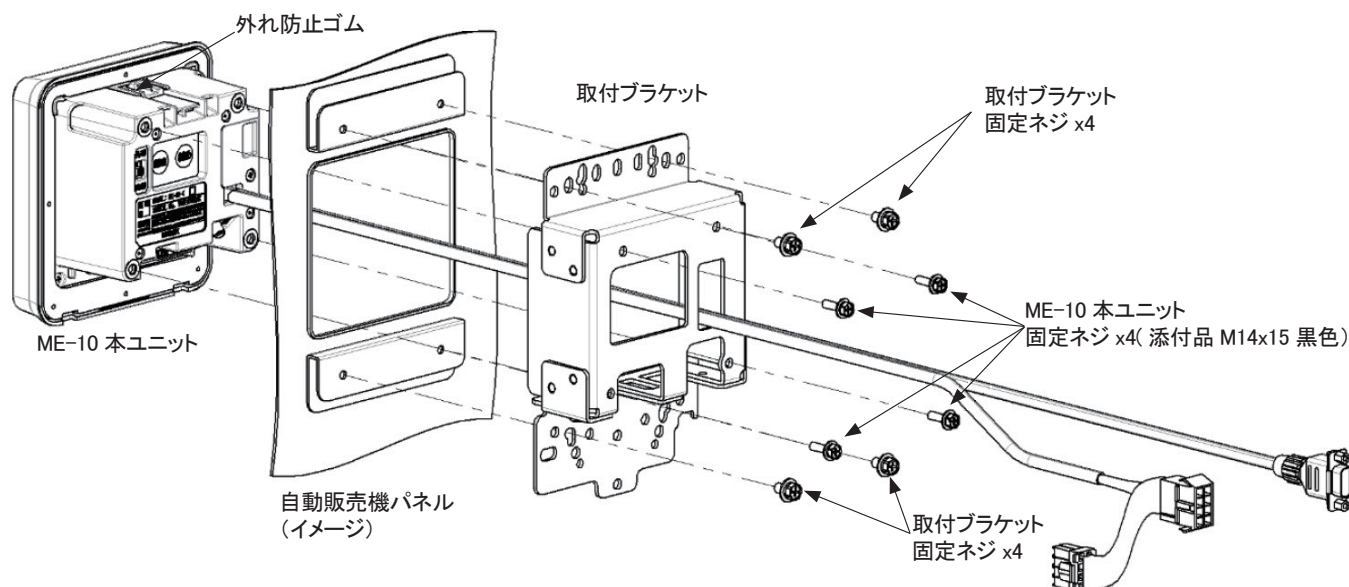


【注意】

- 取り付け作業は、必ず自動販売機の電源を切断してから行ってください。
切断せずに取り付け作業をすると、火災や感電の原因となります。

①取付ブラケットを自動販売機側の設置部にあてがいます。

（合う穴位置を選んで、マーキングしておきます）



②本ユニットのJVMA ハーネス、RS-232C ハーネス（ME-10-1 のみ）を、自動販売機のパネル外側から通して取付ブラケットの図の穴から引き出しておきます。

③先端サイズ No.2 の (+) ドライバーを使用して、取付ブラケットをネジ 4 本で、自動販売機側の開口部に事前に取付ブラケット用に選んだ取付穴に仮止めします。
（添付品のネジが使用できない場合は、取付ブラケットの寸法に合わせて、お客先側で準備してください。）

④自動販売機側のパネル外側から本ユニットを押し込みます。

【注意】外れ防止ゴムをパネルの内側まで確実に取り付けてください。不十分ですと水漏れの原因になります。

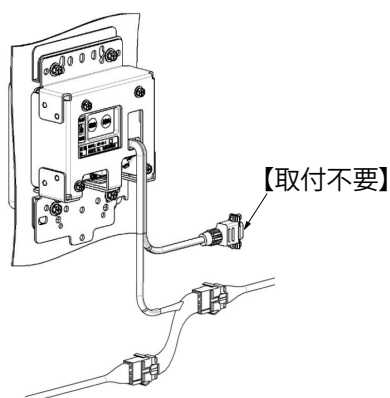
⑤先端サイズ No.2 の (+) ドライバーを使用して、本ユニットをネジ 4 本（添付品 W セムス M4X15 黒色）で取付ブラケットに取り付けます。（締付けトルク 1.5N・m）
※ 4 箇所必ず取り付けてください。

⑥仮止めしていたネジを、取付ブラケットに増締めします。

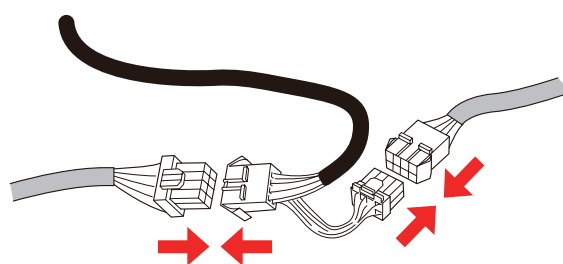
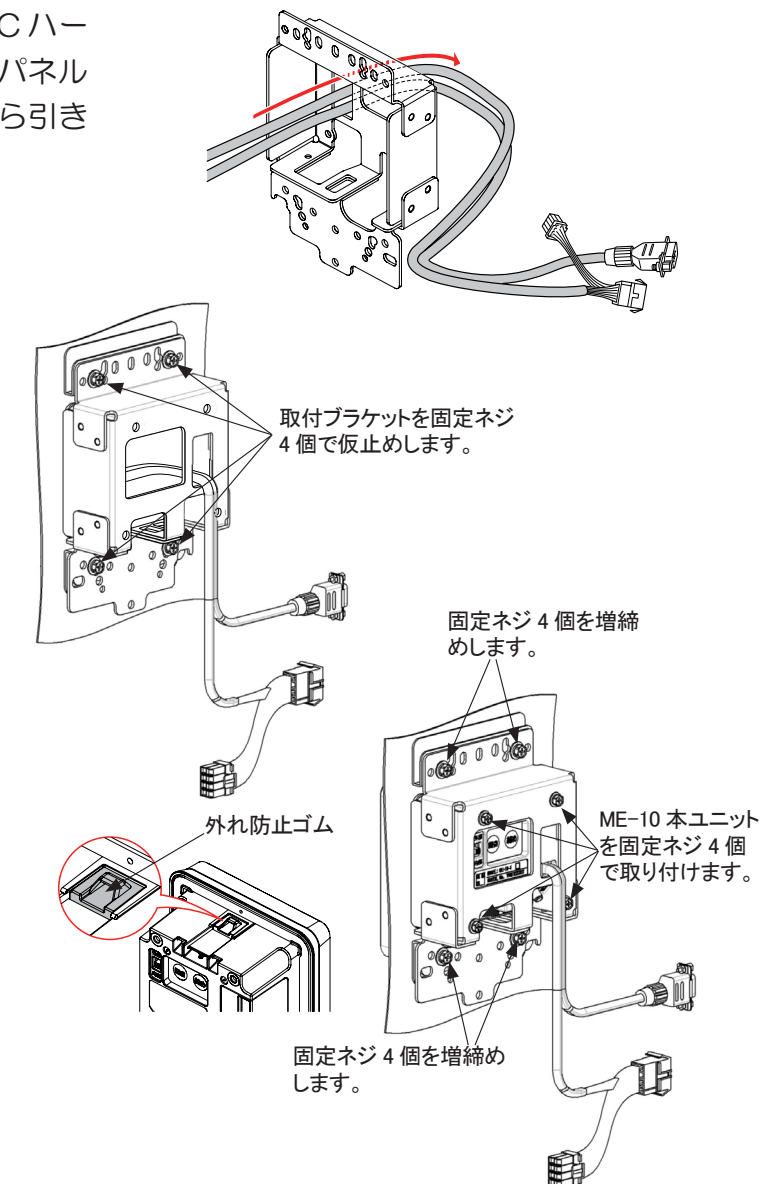
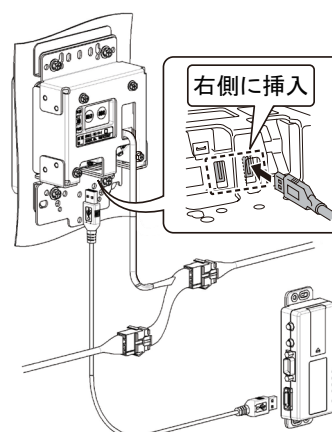
⑦ハーネス類を接続します。

本ユニットのJVMA ハーネス（8P コネクタ）を、自動販売機側のJVMA ハーネスを引き抜き、間に接続します。
RS-232C ケーブルは機能拡張用のため、接続は不要です。

●接続図例（モデム内蔵モデル）



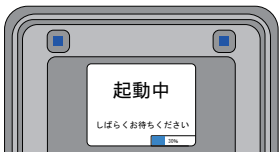
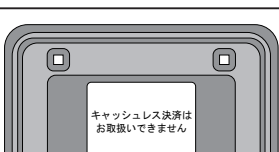
●接続図例（モデムなしモデル）



10 // 各表示と状態について

情報表示部、選択ボタン、LED、音声出力により、本ユニットの状態や取引状態を知ることができます。

①情報表示部（詳細は設置、操作、保守の項目を参照してください）

情報表示部表示	本ユニット状態
	電源 OFF（表示なし）
	起動処理
	起動処理中 センター通信（アプリ立ち上げ中）
	「電子マネー取扱中（待機画面）」
	「電子マネー取扱停止中（待機画面）」

②選択ボタン

選択ボタン （スイッチ 1）	選択ボタン （スイッチ 2）	本ユニット状態	備考
消灯	消灯	待機時	受付不可
点灯	点灯	待機時	受付可→青色
点灯	点灯	カードタッチ時	再カードタッチ待ち→青色
点灯	点灯	電子決済時	正常決済時、未決済時とも青色

③誘導および決済結果 LED

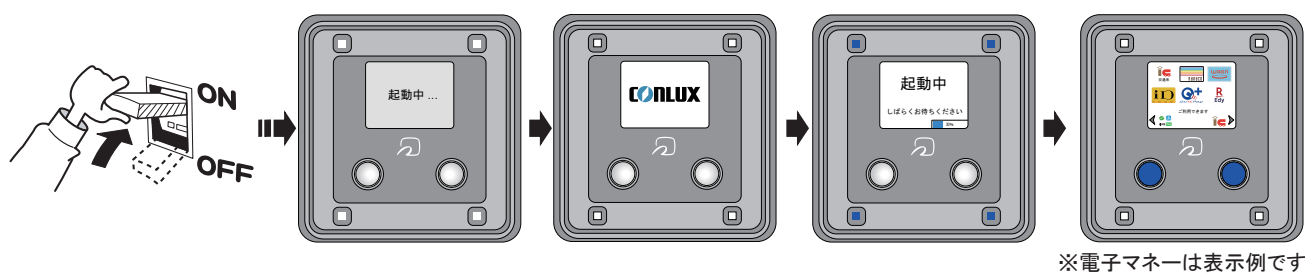
動作	本ユニット状態	備考
点滅	操作待ち	カードタッチ待ち又は商品選択待ち→緑色点滅
点灯	決済中	正常決済時（緑色）、決済中止時（赤色）
消灯	待機時	

④音声出力

動作	本ユニット状態	備考
「ピッ」	選択ボタン押下	
「ピッ」	開店、締めスイッチ短押し時	
「ピー」	開店、締めスイッチ長押し時	長押し（3 秒以上）
決済音	決済	マネー毎に異なる
「ピピピピピもう一度、タッチしてください」（繰り返し）	再カードタッチ待ち	
「ピーッ」、「ピーッ」、「ピーッ」	残高不足	

●電源投入（利用可能な場合）

申込済みのマネーと表示マネーが合致しているかご確認ください。



自販機の電源投入

起動画面の推移

※新規設置時、在庫品設置時の起動した際、待機画面表示後、「しばらくお待ちください」と表示し、アップデート行なわれる場合があります。そのまま電源を切らずに10分程度お待ちください。

●電源投入（利用不可の場合）

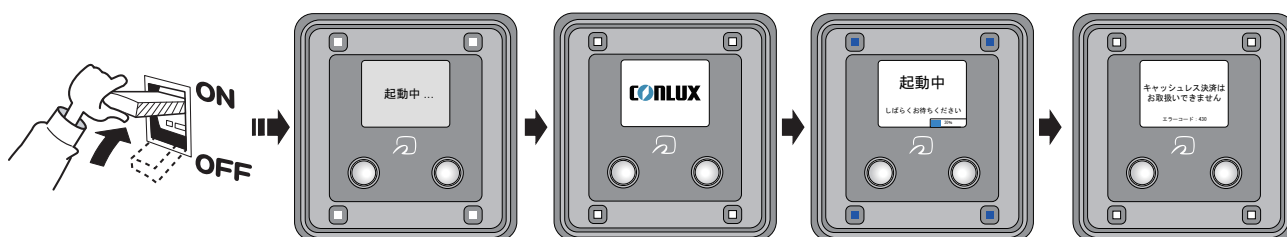
上位接続機器（自動販売機等）が販売可能状態か確認してください。

端末設置の申込みが完了しているか確認してください。

電波状態を確認ください。

それでもなお利用できない、もしくは登録状態を確認が必要な場合、サポートセンターに連絡ください。

サポートセンターの電話番号は、製品添付の設置先記載の紙に記載しています。



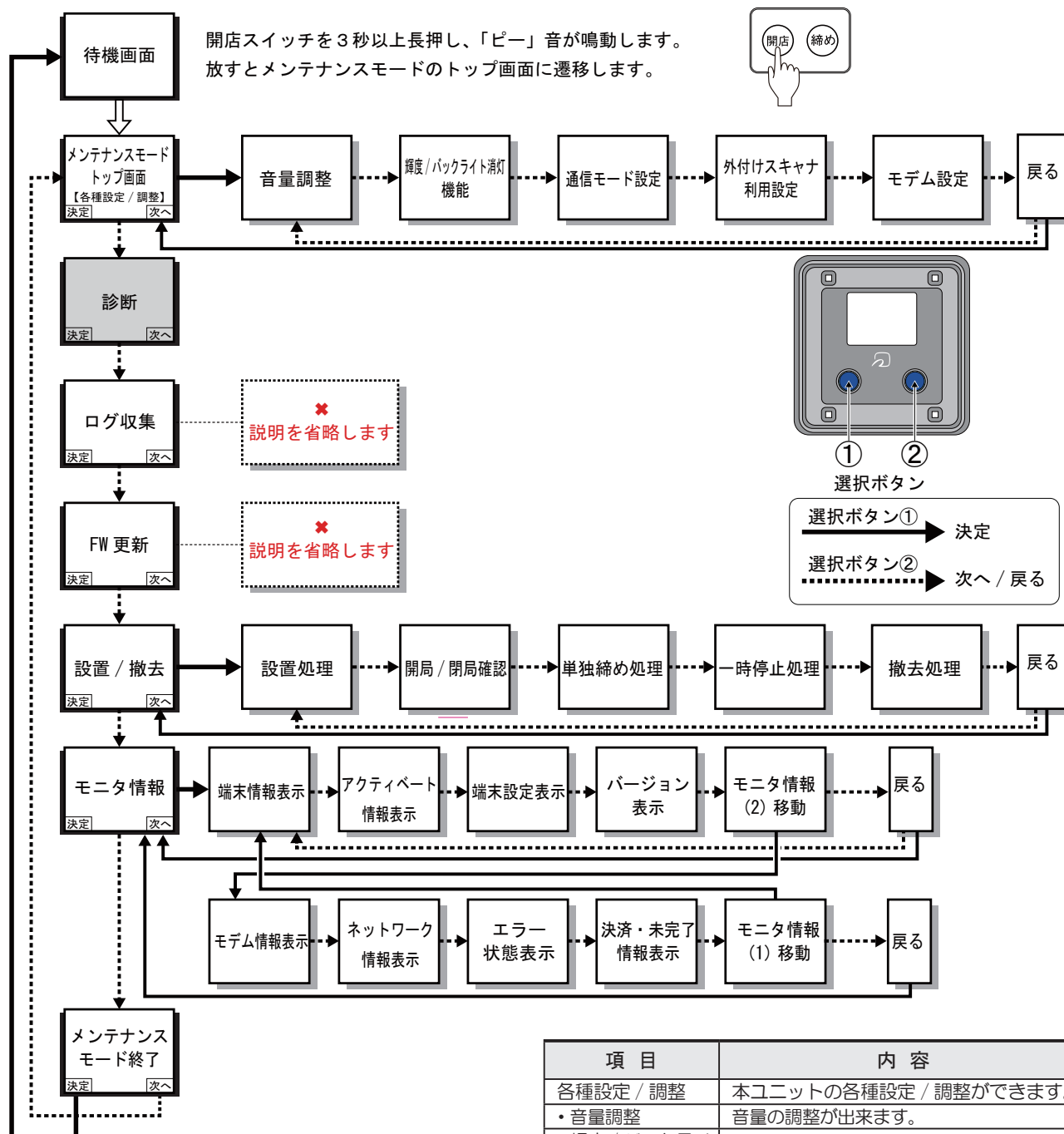
自販機の電源投入

起動画面の推移

11 //保守モードのメニュー構成一覧図

※待機画面にて、端末背面スイッチの「開店」スイッチを3秒以上長押し、「ピー」音が鳴動します。放すと、保守機能に切り替わり、各種設定が出来ます。

●保守機能に切り替えると「メンテナンスモード」のトップ画面を表示します。



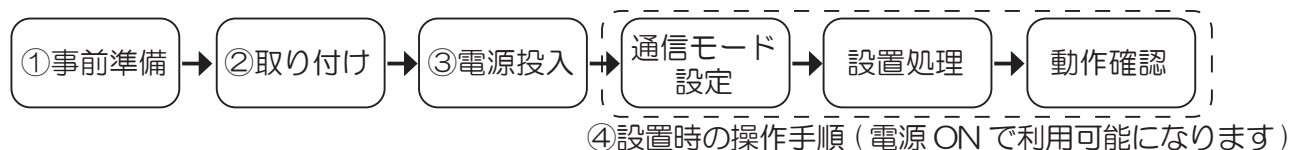
※メンテナンスモードから待機画面の運用モードへの切り替え方法

上記の各操作終了時に、メンテナンスモードのトップ画面より「メンテナンスモード終了」を選択し決定ボタンを押すか又、無操作状態が5分以上続くと、待機画面の運用モードに戻ります。

項 目	内 容
各種設定 / 調整	本ユニットの各種設定 / 調整ができます。
・音量調整	音量の調整が出来ます。
・輝度 / バックライト 消灯機能	バックライトやLEDの輝度調整ができます。
・通信モード設定	使用する通信モードを選択します。
・外付けスキャナ利用 設定	カメラユニット取付時に設定します。 別冊「利用者提示型決済 利用手順編」参照
・モデム設定	通信モード「検量共用」で使用します。
設置 / 撤去	本ユニットの設置 / 撤去ができます。
・設置処理	本ユニットの設置処置を行います。
・開局 / 閉局確認	電子マネーの開局状態が確認できます。
・単独締め処理	上位機器の状態に関わらず締めができます。
・一時停止処理	本ユニットの一時停止処理ができます。
・撤去処理	本ユニットの撤去処理ができます。
モニタ情報	本ユニット各設定情報が確認できます。

12 // 設置手順

本ユニットを設置する場合、以下のような手順となります。



① 事前準備

(1) 通信モードの選択

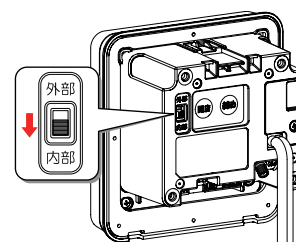
端末を使用する際の通信モードとしては、以下の 4 種類があります。ご使用する環境に合わせて、後述する「18 保守機能」より、通信モードの設定を行ってください。

No	通信モード	概要
1	内蔵モデム	端末内に内蔵されているモデムを使用して通信を行います。
2	外付けモデム	端末に USB 接続されるモデムを使用して通信を行います。
3	有線 LAN（静的 IP）	静的 IP による LAN 環境にて通信を行います。 弊社担当営業にご相談ください。
4	有線 LAN（動的 IP）	動的 IP による LAN 環境にて通信を行います。 DHCP サーバーからリースされるネットワーク設定および DNS 設定により通信が可能となります。
5	検量共用	自販機検量とモデムを共用して通信を行います。 弊社担当営業にご相談ください。

通信モードで内蔵モデムを使用する場合は、本ユニットの背面にあるアンテナ外部 / 内部切替スイッチを「内部」に切替えてください。

通信状況により外部アンテナを接続する場合は、切替スイッチを「外部」に切替えます。

外部アンテナは、M（Main）、S（Sub）の 2 本の取付を推奨しております。
手配につきましては、弊社担当営業までお問合せください。



(2) 取り付ける上位接続機器（自動販売機等）について以下の確認を行ってください。

1) 販売が可能な状態か確認してください。販売が不可の場合は販売可能状態にしてください。

2) 上位接続機器に時刻が設定されている場合、設定されている日時を確認してください。

ずれていれば正しい日時に再設定してください。

上位接続機器の時刻がずれていると、上位接続機器の売上データの時間と、本ユニットの売上データの時間が合わなくなり、正確な突合が困難となる可能性があります。

上位接続機器の日時の確認と、設定の方法については上位接続機器の取扱説明書等を参照してください。

②取り付け

14,15 ページの「9 取り付け方法」を参照してください。

③電源投入

17 ページの「10 各表示と状態について - 電源投入」を参照してください。

④設置時の操作手順

本ユニットを取り付け後、運用を開始するためには設置処理を行う必要があります。
通常、弊社端末管理サーバの登録が完了していれば電源ONで利用可能になります。

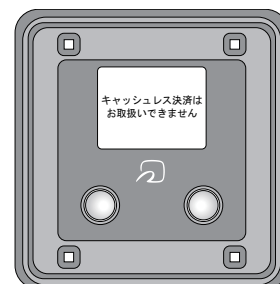


1. 内蔵モデムを利用する場合

端末設置の申込みが完了していれば、特に設定は不要です。

電源を入れるだけで利用可能になります。

電源ON後「キャッシュレス決済はお取り扱いできません」の表示になった場合は、登録が完了しているか、サポートセンターまでご連絡ください。



2. 外部モデムを利用する場合

端末設置の申込みが完了していれば、特に設定は不要です。

電源を入れるだけで利用可能になります。

移設などで前回のロケでLAN接続をしている可能性がある場合は、通信モードの設定を確認ください。

電源ON後「キャッシュレス決済はお取り扱いできません」の表示になった場合は、通信モデムの状態に問題ないか確認ください。それでもなお利用可能にならない場合は、登録が完了しているかサポートセンターまでご連絡ください。

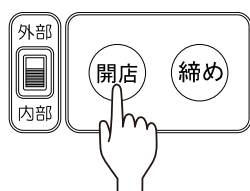
3. 有線LAN接続で利用する場合

設定が必要になる場合があります。

電源ON後「キャッシュレス決済はお取り扱いできません」の表示になった場合は、通信モードの設定を確認ください。

⑤開店スイッチの操作

端末背面スイッチのうち、「開店」スイッチは短押し・長押しによって下記の通りに機能が異なります。
尚、いずれも待機画面以外での押下では機能しません。



No	押下方法	内容
1	短押し	開店処理を実行し、端末で電子マネーが使用可能な状態にします。 保守機能における、以下の機能がまとめて実行されます。 ●「設置 / 撤去」機能のアクティベート処理 ●「設置 / 撤去」機能の開局処理
2	長押し（3 秒以上）	「ピー」音と共に、保守機能が起動します。 詳細は「18 保守機能」を参照してください。

開局及びアクティベート通信は、通常起動時に自動実行されます。

通信モードの変更、起動時通信に失敗した場合など、「キャッシュレス決済はお取り扱いできません」の表示になりましたら電波状態などを確認の上、「開店」スイッチを短押ししてください。

※「キャッシュレス決済はお取り扱いできません」表示の場合でも、通信リトライにより自動復旧する場合があります。

13 // 操作方法



【注意】

キャッシュレス決済による決済処理中に、上位接続機器（自動販売機等）の電源を切ったり、上位接続機器の扉の開閉等の保守作業を行わないでください。

誤動作や故障の原因となるばかりでなく、正常な資金決済が行えなくなる恐れがあります。

①商品の購入手順

1. 電子マネー決済

◎商品選択先押し購入の場合

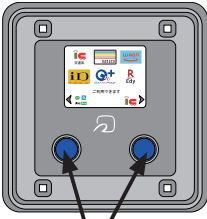
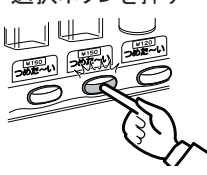
1) 商品選択→ 2) マネー選択→ 3) 電子マネーをタッチ→ 4) 商品搬出

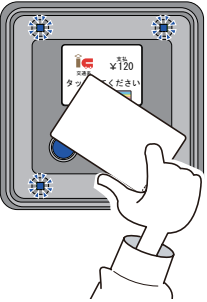
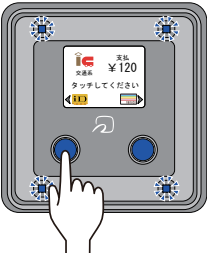
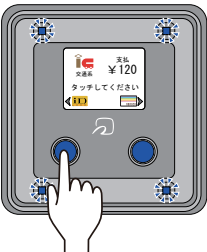
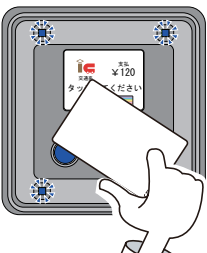
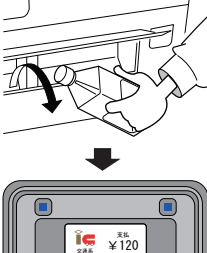
※単一マネーのカードの場合、マネー選択なしで購入できます。

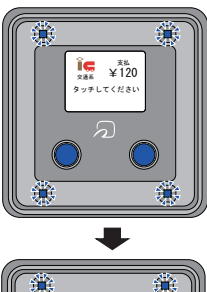
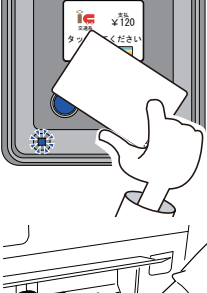
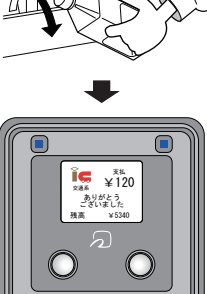
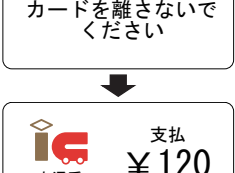
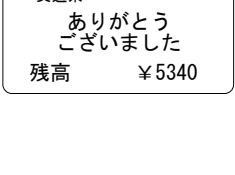
◎マネー選択先押し購入の場合

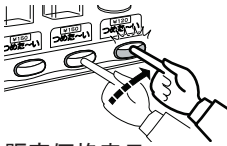
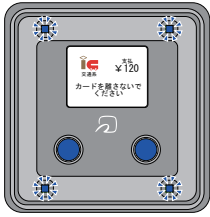
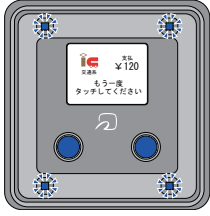
1) マネー選択→ 2) 商品選択→ 3) 電子マネーをタッチ→ 4) 商品搬出

上位接続機器（自動販売機等）が販売可能であることを確認します。

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	 選択ボタン点灯	待機状態では、利用可能な決済マネーが表示して、マネー選択ボタンが青点灯します。 利用可能な決済マネーは、約4秒毎に切り替わります。	●表示例 使用可能なマネーを表示   ↓
2	選択ボタンを押す  販売価格表示  ↓ 	◎商品選択先押し購入の場合 上位接続機器（自動販売機等）本体の商品選択ボタンを押してください。 押した商品選択ボタンの販売価格が表示されます。 使用可能な決済マネーと 「マネーを選択してください」 との表示になります。併せて四隅のLEDが青色点滅します。	●表示例 

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
3		電子マネーを選択してください。 選択状況により、①②③の操作になります。	●表示例 
		①単一の電子マネーカードの場合は、カードをタッチ（FeliCa マークの中心付近 - 以下文章中は省略）すると、使用する電子マネーロゴ、支払い金額、及び【タッチしてください】の表示後、【カードを離さないでください】の表示に変わり、決済へ進みます。	
		②カードやスマートフォンに複数の電子マネーが入っている場合は、選択ボタン右あるいは左を順次押し、使用する電子マネーを上段に表示させます。使用する電子マネーを上段に表示し【タッチしてください 支払 ¥120】と表示します。	
		③複数の電子マネーが利用可能な場合でマネーの選択なしにタッチすると、使用できる電子マネーを上段に表示し【マネーを選択してください】と表示します。	
		マネー選択ボタンでマネーを選ぶと、使用する電子マネーを上段に表示し【タッチしてください 支払 ¥120】と表示します。	
		続けて選択した電子マネーのカードやスマートフォン等をタッチすると、【カードを離さないでください 支払 ¥120】と表示に変わり、決済へと進みます。	
		正常に決済された場合、電子マネーの“決済音”が鳴った後、商品が搬出されます。	
		プリペイド式電子マネーの決済の場合は、【支払 ¥120 ありがとうございます残高 ¥ * * * *】と表示します。ポストペイ式電子マネーの決済の場合は、【支払 ¥120 ありがとうございます】（iD、QUICPay の場合）と表示します。	残高 ¥5340
		続いて、待機状態に戻ります。	●待機画面 
		正常に決済されなかった場合、「手順 7」に状況と表示を記述しましたので、参照してください。	

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
4	  選択ボタンを押す  販売価格表示 	◎マネー選択先押し購入の場合 電子マネーを選択してください。 ※端末に複数の電子マネーが追加されている場合は、マネー選択ボタン右あるいは左を順次押し、使用する電子マネーを上部に表示させます 利用する電子マネーが「ご利用できます」と表示します。また、プリペイド式の電子マネーの場合、併せて「残高照会はカードをタッチしてください」と表示がでます。 上位接続機器（自動販売機等）本体の商品選択ボタンを押してください。 選択中のマネーとそのマネーでの価格が表示されます	●表示例 使用可能なマネーを表示    
5	  	利用する電子マネーを上段に表示し「タッチしてください 支払 ¥120」と表示します。 なお、この段階でのマネーの切り替えはできません。 返却レバーを操作するか、タイムアウトで待機状態に戻し、再操作します。 次に、選択した電子マネーのカード、おサイフケータイなどをタッチすると、「カードを離さないでください 支払 ¥120」と表示に変わり、決済へと進みます。 正常に決済された場合、電子マネーの“決済音”が鳴った後、商品が搬出されます。 プリペイド式電子マネーの決済の場合は、「支払 ¥120 ありがとうございました残高 ¥ * * * *」と表示します。ポストペイ式電子マネーの決済の場合は、「支払 ¥120 ありがとうございました」（iD、QUICPay の場合）と表示します。 続いて、待機状態に戻ります。 正常に決済されなかった場合、「手順 7」に状況と表示を記述しましたので、参照してください。	   ●待機画面 

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
6	再度、選択ボタンを押す  販売価格表示  返却レバーを操作する 	◎選択商品を変更する場合 再度希望商品の商品選択ボタンを押します。 [タッチしてください 支払 ¥150] と、選択した商品の表示マネーでの価格に変わります。	
		◎購入をキャンセルする場合 カードやスマートフォンなどをタッチする前に、返却レバーの操作や現金を投入することで待機状態に戻ります。又は、そのまま一定時間放置するとタイムアウトし待機状態に戻ります。	●表示例 ●待機画面 
		◎「もう一度タッチしてください」という音声が続く場合 カードやスマートフォンなどの読み取りがタッチ時間が短いなどの理由で正しく読み取れなかったことを示します。 [カードを離さないでください] と表示し、続いて [もう一度タッチしてください] と表示しますので、同じカード、スマートフォンなどをもう一度タッチしてください。	
			
		正常に決済された場合、電子マネーの“決済音”が鳴った後、商品が搬出されます。 プリペイド式電子マネーの決済の場合は、[支払 ¥120 ありがとうございます残高 ¥ * * * *] と表示します。 ポストペイ式電子マネーの決済の場合は、[支払 ¥120 ありがとうございます] (iD、QUICPay の場合) と表示します。 続いて、待機状態に戻ります。 正常に決済されなかった場合、「手順 7」に状況と表示を記述しましたので、参照してください。	●表示例  ●待機画面 

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
7		◎正常に決済されなかった場合 ・残高不足のとき [残高不足 残高 ¥100 支払 ¥120] と表示し、四隅の誘導及び決済結果 LED が赤点灯します。同時に、「ピーッ」、「ピーッ」、「ピーッ」と3回続けて音声がかかります。	
		続いて、待機状態に戻ります。	●待機画面
		・利用できないマネーをタッチしたとき カードやスマートフォンの電子マネーが利用できない場合等 [お取り扱いできません 支払 ¥120] と表示し、四隅の誘導及び決済結果 LED が赤点灯します。同時に、「ピーッ」、「ピーッ」、「ピーッ」と3回続けて音声がかかります。	
		続いて、上記と同様な表示を経て、待機状態に戻ります。	●待機画面
		・処理未了のまま決済を中止したとき カードやスマートフォンのタッチの時間が短いなど、正しく読み取れない場合に [決済が完了できませんでした 支払 ¥120] と表示し、四隅の誘導及び決済結果 LED が赤点灯します。同時に、「ピーッ」、「ピーッ」、「ピーッ」と3回続けて音声がかかります。	●表示例
		続いて、上記と同様な表示を経て、待機状態に戻ります。	●待機画面

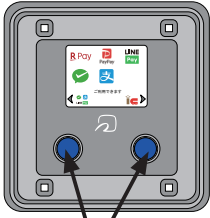
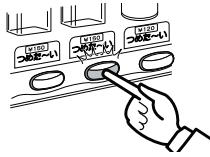
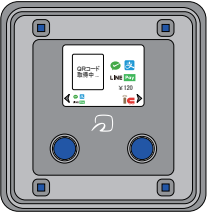
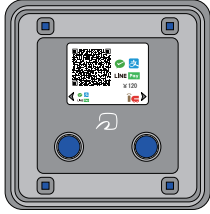
2.QRコード決済

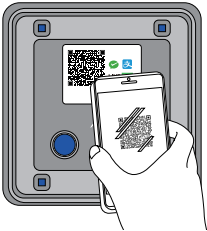
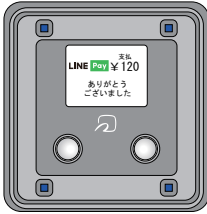
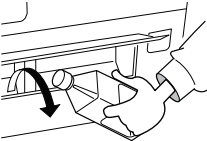
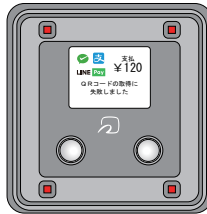
◎商品選択先押し購入の場合

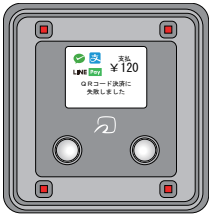
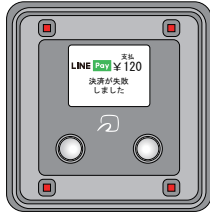
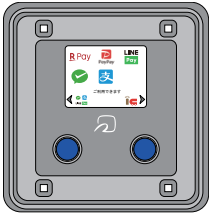
1) 商品選択→ 2) 決済マネー選択→ 3) QRコード取得→ 4) スマホでQR読み取り→ 5) 商品搬出

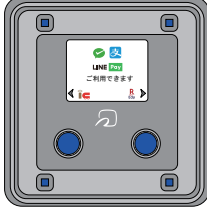
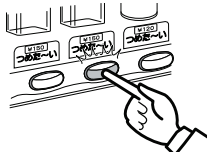
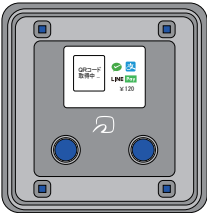
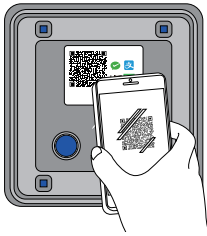
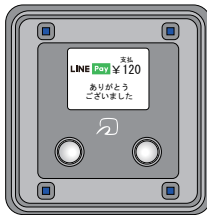
◎ QRコード決済マネー先押し購入の場合

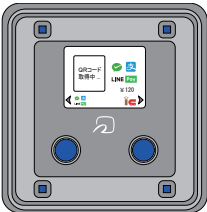
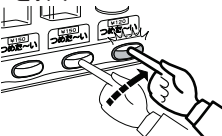
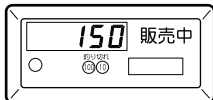
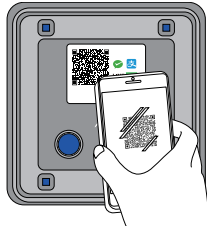
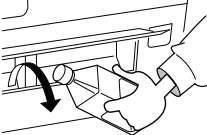
1) 決済マネー選択→ 2) 商品選択→ 3) QRコード取得→ 4) スマホでQR読み取り→ 5) 商品搬出
上位接続機器（自動販売機等）が販売可能であることを確認します。

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	 選択ボタン点灯	待機状態では、利用可能な決済マネーを表示し、選択ボタンが青点灯します。	●表示例 利用可能なマネーを表示  ↓
2	選択ボタンを押す  販売価格表示  ↓ 	◎商品選択先押し購入の場合 上位接続機器（自動販売機等）本体の商品選択ボタンを押してください。 押した商品選択ボタンの販売価格が表示されます。 利用可能な決済マネーと 「マネーを選択してください」 との表示になります。併せて四隅のLEDが青色点滅します。	●表示例  ↓
3	 ↓ 	QRコード決済マネーを選択してください。 ① 選択ボタン左を押すと、利用出来るQRコード決済マネーを上段に表示し 「QRコード取得中 ¥120」 と表示します。 尚、利用出来るQRコード決済マネーが下段に表示されてない時は、選択ボタン右あるいは左を順次押し、表示させます。 ② 続いてQRコードの取得へ推移します、QRコードの取得に成功すると、「QRコード表示 ¥120」 と表示します。	 ↓ 

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
4	   	次に、選択したQRコードをスマートフォンの決済アプリで読み込みます。 正常に決済された場合、“決済音”が鳴った後、商品が搬出されます。 決済マネーと、支払 ¥120 ありがとうございました と表示します。 続いて、待機状態に戻ります。 正常に決済されなかった場合、「手順5」に状況と表示を記述しましたので、参照してください。	 ●表示例 LINE Pay 支払 ¥120 ありがとうございました  ●待機画面 R Pay PayPay LINE Pay 支 ご利用できます
5	  	◎ QRコード取得に失敗した場合 失敗の理由が表示し、四隅の誘導及び決済結果LEDが赤点灯します。 表示例) [QRコードの取得に失敗しました 支払 ¥120] [お取扱いできませんでした 支払 ¥120] 同時に、「ピーッ」、「ピーッ」、「ピーッ」と3回続けて音声がかかります。 その後、3秒程度で待機状態に戻ります。 また、再度商品選択ボタンを押すと、「手順3」に戻ります。	支 支払 ¥120 LINE Pay QRコードの取得に失敗しました LINE Pay 支払 ¥120 お取扱いできませんでした  ●待機画面 R Pay PayPay LINE Pay 支 ご利用できます

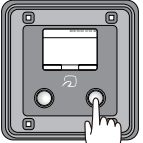
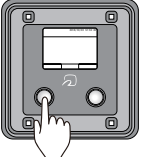
手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
5		◎正常に決済されなかった場合 ※チャージ不足による残高不足のとき ※使用アプリ側によるとき 失敗の理由が表示し、四隅の誘導及び決済結果LEDが赤点灯します。	
		表示例) [QRコード決済に失敗しました 支払 ¥120] [決済が失敗しました 支払 ¥120]	
		同時に、「ピーッ、ピーッ、ピーッ」と3回続けて音声がなります。	
		その後、3秒程度で待機状態に戻ります。 また、再度商品選択ボタンを押すと、「手順3」に戻ります。	●待機画面 
		※利用できない決済マネーのとき 上記等の場合、[お取り扱いできませんでした 支払 ¥120]と表示し、四隅の誘導及び決済結果LEDが赤点灯します。 同時に、「ピーッ、ピーッ、ピーッ」と3回続けて音声がなります。	
		その後、3秒程度で待機状態に戻ります。 また、再度商品選択ボタンを押すと、「手順3」に戻ります。	
			●待機画面 
	返却レバーを操作する 	◎購入をキャンセルする場合 QRコード読み取り前に、返却レバーの操作や現金を投入することで待機状態に戻ります。又は、そのまま一定時間放置するとタイムアウトし待機状態に戻ります。	
			●待機画面 

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
6	  選択ボタンを押す  販売価格表示   	◎マネー選択先押し購入の場合 決済マネーを選択してください。 ※ 選択ボタン左を押し、使用出来るQRコード決済マネーが「ご利用できます」と表示します。 尚、使用出来るQRコード決済マネーが下段に表示されてない時は、選択ボタン右あるいは左を順次押し、表示させます。 上位接続機器（自動販売機等）本体の商品選択ボタンを押してください。 決済マネーを上部に表示し「QRコード取得中 ¥120」と表示します。 続いてQRコードの取得へ推移します、QRコードの取得に成功すると、「QRコード表示 ¥120」と表示します。	●表示例 使用可能なマネーを表示       
7	 	次に、選択したQRコードをスマートフォンの決済アプリで読み込みます。 正常に決済された場合、「決済音」が鳴った後、商品が搬出されます。 決済マネーと、「支払¥120 ありがとうございました」が表示します。 正常に決済されなかった場合、「手順5」に状況と表示を記述しましたので、参照してください。	●表示例 

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
8	  ↓ 再度、選択ボタンを押す  販売価格表示 	◎選択商品を変更する場合 QRコード取得中及び、QRコード取得成功の表示中に、再度希望商品の選択ボタンを押します。 [QRコード取得中 ￥150] 又は [QRコード表示 ￥150]と、選択した商品の表示マネーでの価格に変わります。	  ↓   ↓
	 ↓  ↓  返却レバーを操作する 	次に、選択したQRコードをスマートフォンの決済アプリで読み込みます。 正常に決済された場合、“決済音”が鳴った後、商品が搬出されます。 決済マネーと、[支払 ¥150 ありがとうございました]が表示します。 正常に決済されなかった場合、「手順5」に状況と表示を記述しましたので、参照してください。 ◎購入をキャンセルする場合 QRコード読み取り前に、返却レバーの操作や現金を投入することで待機状態に戻ります。又は、そのまま一定時間放置するとタイムアウトし待機状態に戻ります。	 ↓ ●待機画面 

②残高確認（プリペイド方式の電子マネー）

プリペイド方式の電子マネー（交通系、Edy など）の残高を確認できます。

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	 選択ボタン点灯  必要回数押す  	上位接続機器（自動販売機等）が待機状態で、本ユニットが受付可の待機状態であること。 ※尚、左右の選択ボタンが消灯中は受付出来ない状態です。点灯までお待ちください。 上段に使用できる電子マネー名が表示されます。 残高照会する電子マネーを選択してください。 ※複数の電子マネーが追加されている場合は、選択ボタン右あるいは左を順次押し、使用する電子マネーを上部に表示させます 残高照会する電子マネーを上欄に表示し【ご利用できます】と同時に【残高照会はカードを タッチしてください】表示します。 次に、選択した電子マネーが使用できるカード、おサイフケータイなどをタッチします。	●表示例 使用可能なマネーを表示  ご利用できます  ご利用できます ↓  ↓
2	  残高表示 	続いて、【カードを離さないでください】と表示が出ますので、カード、おサイフケータイなどをタッチしたままにしてください。 【残高 ¥ * * * *】と表示します。 ※情報表示部の上段には、選択されている電子マネー名が表示されます。 ※情報表示部の下段には、残高が表示されます。 マネーにより 3 秒～ 5 秒間表示後、待機状態に戻ります。	 ↓  ↓ ●待機画面 

③ 締めスイッチの操作

本機能は、端末背面スイッチ操作で締め処理を実行し、端末内に締め処理ログを生成します。

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	 3 秒以上長押し	上位接続機器（自動販売機等）の電源を“ON”します。 待機状態にて、本ユニット背面にある“締めスイッチ”を3秒以上長押し、「ピーッ、締めスイッチが押されました」音が鳴動します。同時に「○ ご利用できます ○」画面を表示します。	●表示例 
2		「ピン、端末の締め処理が正常終了しました」音が鳴動します。同時に「□ ご利用できます □」画面を表示します。 ※上位機器により鳴動しない場合がありますが、手順1が鳴動していれば締め処理は正常に終了しています。 ◎正常に締め処理されなかった場合 「ピピピピピ、端末の締め処理が異常終了しました」音が鳴動します。同時に「■ ご利用できません ■」画面を表示します。	

・締め処理ログ正常終了時印字例 (2 マネー)

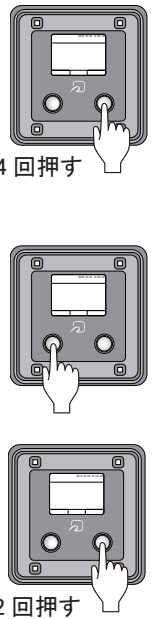
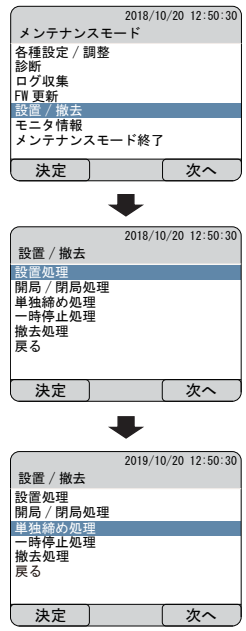
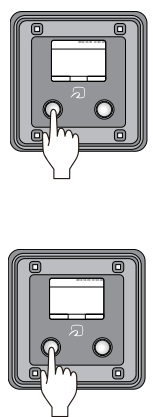
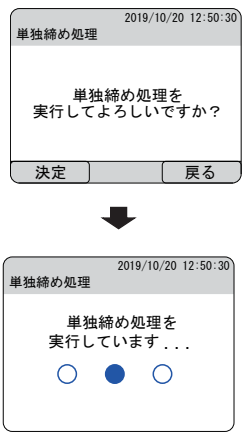
ページ数	行数	印字依頼内容	備考
1 ページ目	1 行目	ME-10	
	2 行目	< 端末シリアル >	
	3 行目	2020/10/20 10:05	今回締め
	4 行目	2020/10/10 10:00	前回締め
	5 行目		空行
	6 行目	ゼン 2 P	総ページ数
2 ページ目	1 行目	コウツウケイ	正常決済
	2 行目	6 ケン ￥720	
	3 行目	ナナコ 5	
	4 行目	5 ケン ￥600	
	5 行目		
	6 行目		

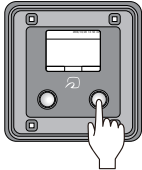
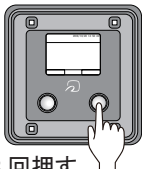
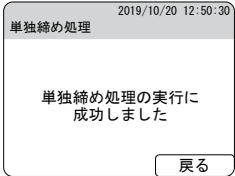
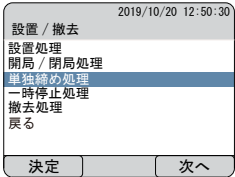
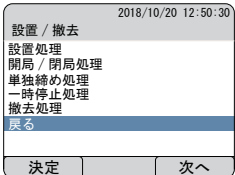
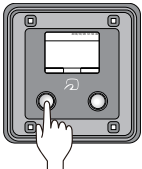
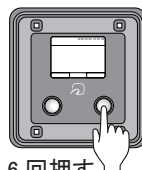
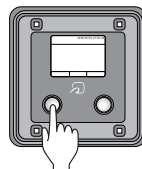
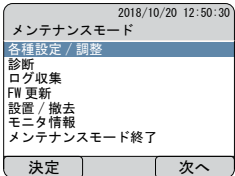
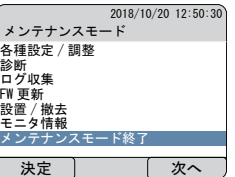
・締め処理ログ異常終了時印字例

ページ数	行数	印字依頼内容	備考
	1 行目	ME-10	
	2 行目	< 端末シリアル >	
	3 行目		空行
	4 行目	シメ: フセイクウ	
	5 行目	2020/10/10 10:00	今回締め
	6 行目		空行

④ 単独締め処理の操作

本機能は、何らかの理由で締めスイッチ操作で締めを行えない場合（例：プリンタ連動印字で紙切れ詰まりなど）において、状態に関わらず、締め情報をサーバに通知します。

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	 3 秒以上長押し	上位接続機器（自動販売機等）の電源を“ON”します。 待機状態にて、本ユニット背面にある“閉店スイッチ”を 3 秒以上長押し、「ピー」音が鳴動します。放すと メンテナンスモード トップ画面に推移します。 ※尚、実行に際してはネットワーク接続を行うため、後述する56ページの「18 保守機能 - ⑨情報確認 - 3.端末設定表示」にて、モデム情報(内蔵モデム使用時)またはネットワーク情報(有線LAN使用時)が端末に正しく設定されていることを確認してください。	●表示例 
2	 4 回押す 2 回押す	メンテナンスモード トップ画面で“選択ボタン 右（次へ）”を 4 回押し、設置 / 撤去 を選択します。 次に“選択ボタン 左（決定）”を押し、設置 / 撤去 メニュー画面を表示させます。 続いて、“選択ボタン 右（次へ）”を 2 回押し、単独締め処理 を選択します。	
3		単独締め処理 表示状態で、“選択ボタン 左（決定）”を押すと、単独締め処理確認画面 単独締め処理を実行してよろしいですか？ を表示します。 続いて、“選択ボタン 左（決定）”を押すと、単独締め処理を実行しています ... 画面を表示します。	

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
3	  3 回押す	⚠【注意】 情報表示部に「単独締め処理を実行しています ...」の表示がされている間は、絶対に電源を切らないでください。 誤動作や故障の原因となります。 実行に成功すると、「単独締め処理の実行に成功しました」画面を表示します。 実行に成功したら、「戻る」位置の“選択ボタン 右（戻る）”を押すと、「設置 / 撤去」メニュー画面に戻ります。 次に“選択ボタン 右（次へ）”を3回押し、「戻る」を選択します。	  
4	  6 回押す 	「戻る」表示状態で、“選択ボタン 左（決定）”を押して、「メンテナンスモード」メニュー画面を表示させます。 次に、“選択ボタン 右（次へ）”を6回押して、「メンテナンスモード終了」を選択します。 続いて、「メンテナンスモード終了」表示状態で、“選択ボタン 左（決定）”を押すと、待機画面に戻ります。	  ●表示例 

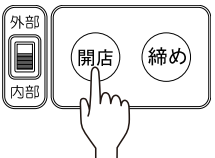
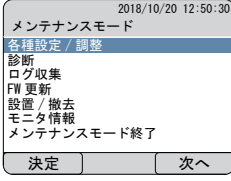
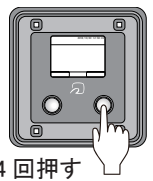
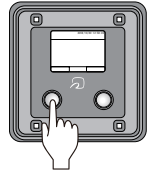
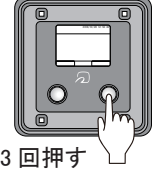
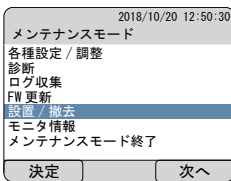
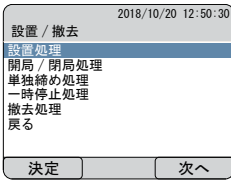
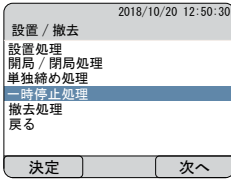
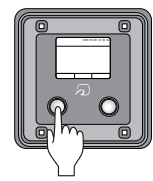
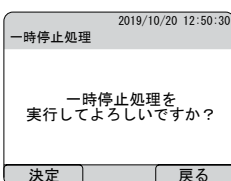
14 // 一時停止処理

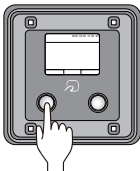
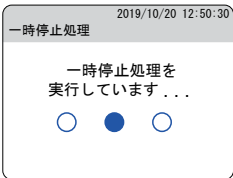
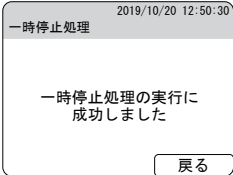
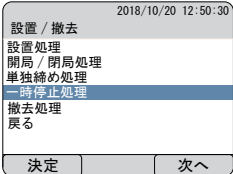
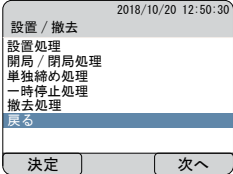
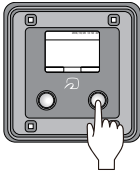
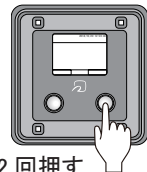
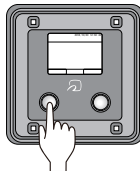
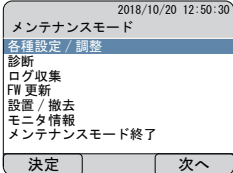
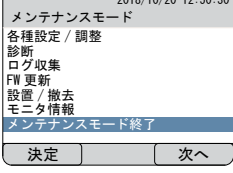
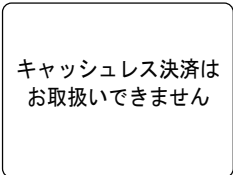
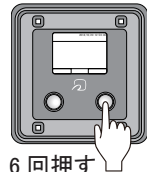
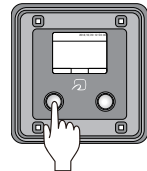
一時停止処理は、追加した全てのマネーを一時的に停止するものです。

一時停止は、夜間の処理、自販機の再起動、開局操作により解除されます。

自販機引き上げ時など、マネーを一時的に止めたいときに利用ください。

特定のマネーのみを一時的に止めたい場合は、サポートセンターに相談ください。

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	   3 秒以上長押し	上位接続機器（自動販売機等）の電源を“ON”します。 待機状態にて、本ユニット背面にある“開店スイッチ”を3秒以上長押し、「ピー」音が鳴動します。放すとメンテナンスモード トップ画面に推移します。 ※尚、実行に際してはネットワーク接続を行うため、後述する56ページの「18 保守機能 - ⑨情報確認 - 3.端末設定表示」にて、モデム情報(内蔵モデム使用時)またはネットワーク情報(有線LAN使用時)が端末に正しく設定されていることを確認してください。	●表示例  
2	 4 回押す   3 回押す	メンテナンスモード トップ画面で“選択ボタン 右（次へ）”を4回押し、設定 / 撤去 を選択します。 次に“選択ボタン 左（決定）”を押し、設定 / 撤去 メニュー画面を表示させます。 続いて、“選択ボタン 右（次へ）”を3回押し、一時停止処理 を選択します。	  
3		一時停止処理 表示状態で、“選択ボタン 左（決定）”を押すと、一時停止処理確認画面 一時停止処理を実行してよろしいですか？ を表示します。	

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
3		続いて、“選択ボタン 左（決定）”を押すと、【一時停止処理を実行しています ...】画面を表示します。 一時停止処理完了まで多少時間が掛かります。 ⚠【注意】 情報表示部に 【一時停止処理を実行しています ...】 の表示がされている間は、絶対に電源を切らないでください。 誤動作や故障の原因となります。	 ↓  ↓  ↓ 
		実行に成功したら、【戻る】位置の“選択ボタン 右（戻る）”を押すと、【設置 / 撤去】メニュー画面に戻ります。	
	 2 回押す	次に“選択ボタン 右（次へ）”を2回押し、【戻る】を選択します。	
4		【戻る】表示状態で、“選択ボタン 左（決定）”を押して、【メンテナンスモード】メニュー画面を表示させます。	 ↓  ↓ 
		次に、“選択ボタン 右（次へ）”を6回押して、【メンテナンスモード終了】を選択します。	
	 6 回押す	続いて、【メンテナンスモード終了】表示状態で、“選択ボタン 左（決定）”を押と、待機画面に戻ります。 待機画面が、【キャッシュレス決済はお取扱できません】と表示します。 上記の状態になれば、一時停止処理は正常に終了しています。 尚、一時停止は、夜間の処理、自販機の再起動、開局操作により解除されます。 【しばらくお待ちください】表示後、待機画面に戻ります。	

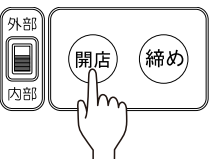
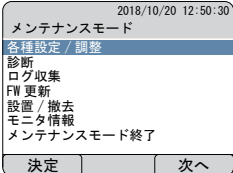
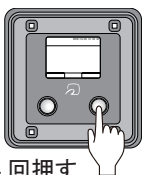
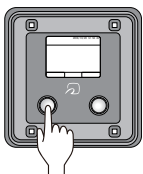
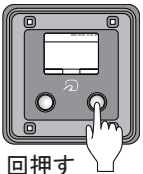
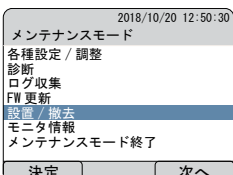
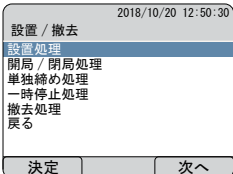
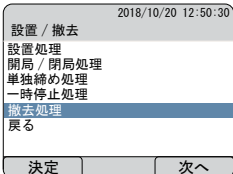
15 // 撤去処理

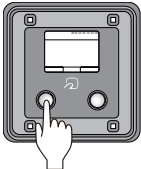
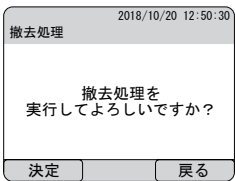
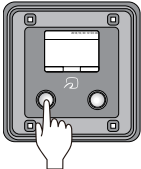
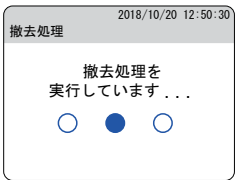
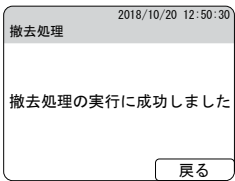
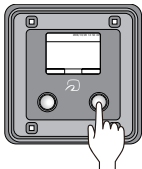
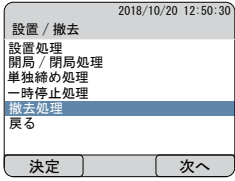
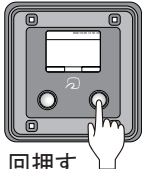
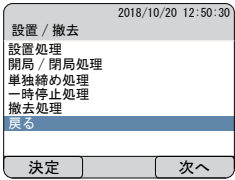
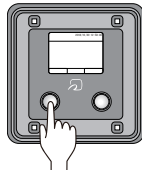
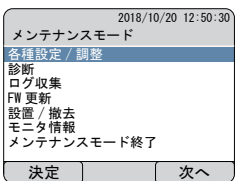
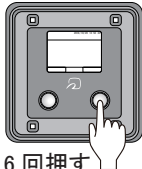
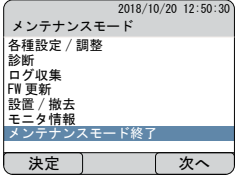
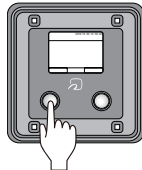
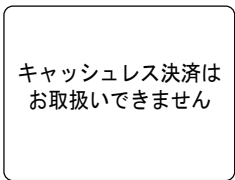
撤去処理を行うと、電子マネーの情報を端末から全てクリアし電子マネーを使用不可の状態にします。また、サーバ上ステータスを撤去済に変更します。

撤去処理は、端末を廃棄、もしくは長期保管（契約の解除）の時にを行います。

一時的に利用を停止する場合は、前項の「14 一時停止処理」を参照してください。また、再び電子マネーを利用するには、端末の再申請処理が必要となります。

加盟店変更を伴わない移設については撤去処理を行わず、締め処理のみを行い端末申請書にて移設の申請を行うようお願いします。撤去処理を実施しますと、あらためてマネーの申請が必要となります。

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	   3 秒以上長押し	上位接続機器（自動販売機等）の電源を“ON”します。 待機状態にて、本ユニット背面にある“開店スイッチ”を3秒以上長押し、「ピー」音が鳴動します。放すとメンテナンスモード トップ画面に推移します。 ※尚、実行に際してはネットワーク接続を行うため、後述する56ページの「18 保守機能 - ⑨情報確認 - 3.端末設定表示」にて、モデム情報(内蔵モデム使用時)またはネットワーク情報(有線LAN使用時)が端末に正しく設定されていることを確認してください。	●表示例  
2	 4 回押す  4 回押す  4 回押す	メンテナンスモード トップ画面で“選択ボタン 右（次へ）”を4回押し、設定 / 撤去を選択します。 次に“選択ボタン 左（決定）”を押し、設定 / 撤去メニュー画面を表示させます。 続いて、“選択ボタン 右（次へ）”を4回押し、撤去処理を選択します。	  

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
3		【撤去処理】 表示状態で、“選択ボタン 左（決定）”を押すと、撤去処理確認画面 【撤去処理を実行してよろしいですか？】 を表示します。	
		続いて、“選択ボタン 左（決定）”を押すと、 【撤去処理を実行しています...】 画面を表示します。 撤去処理完了まで最大5分掛かります。	
		 【注意】 情報表示部に 【撤去処理を実行しています...】 の表示がされている間は、絶対に電源を切らないでください。 誤動作や故障の原因となります。	
		実行に成功すると、 【撤去処理の実行に成功しました】 画面を表示します。	
		実行に成功したら、 【戻る】 位置の“選択ボタン 右（戻る）”を押すと、 【設置 / 撤去】 メニュー画面に戻ります。	
4		次に“選択ボタン 右（次へ）”を1回押し、 【戻る】 を選択します。	
		【戻る】 表示状態で、“選択ボタン 左（決定）”を押して、 【メンテナンスモード】 メニュー画面を表示させます。	
		次に、“選択ボタン 右（次へ）”を6回押し、 【メンテナンスモード終了】 を選択します。	
		続いて、 【メンテナンスモード終了】 表示状態で、“選択ボタン 左（決定）”を押と、待機画面に戻ります。	
		待機画面が、 【キャッシュレス決済はお取扱できません】 と表示します。 上記の状態になれば、撤去処理は正常に終了しています。	

16 // 保 管

ME-10を一時的に保管〔取り付けられた上位接続機器（自動販売機等）の保管も含む〕する場合は、保管前に締め処理後、38ページの「15 撤去処理」を行い、5ページの「警告」に記載してある保管してはいけない場所を避け、盗難等がないように施錠可能な場所で厳重に管理してください。

17 // 再設置

下記状態の本ユニットを再設置する時は、あらためて「設置申請」が必要になります。「設置申請」の手続きが終了した後に、19ページの「12 設置手順」から作業をしてください。

また「設置申請」の手続きには日数を要しますので、日程に余裕を持って申請してください。

「設置申請」の詳しい内容は、弊社担当営業へお問い合わせください。

【再設置申請が必要な状態】

- 修理が完了した本ユニットを再設置する時
- 移設（設置場所変更）した本ユニットを再設置する時
「移設（設置場所変更）した上位接続機器（自動販売機等）（本ユニット付）を再設置する時も含む」
- 一時的に保管した本ユニットを再設置する時
「保管した上位接続機器（自動販売機等）（本ユニット付）を再設置する時も含む」
- 撤去済みの本ユニットを再設置する時
「撤去済みの上位接続機器（自動販売機等）（本ユニット付）を再設置する時も含む」

18 // 保守機能

待機画面にて、端末背面スイッチの「開店」スイッチを3秒以上長押し、「ピー」音が鳴動します。放すとメンテナンスモードのトップ画面へ推移します。起動中や決済中では、保守機能は起動できません。各種設定や確認が出来ます。



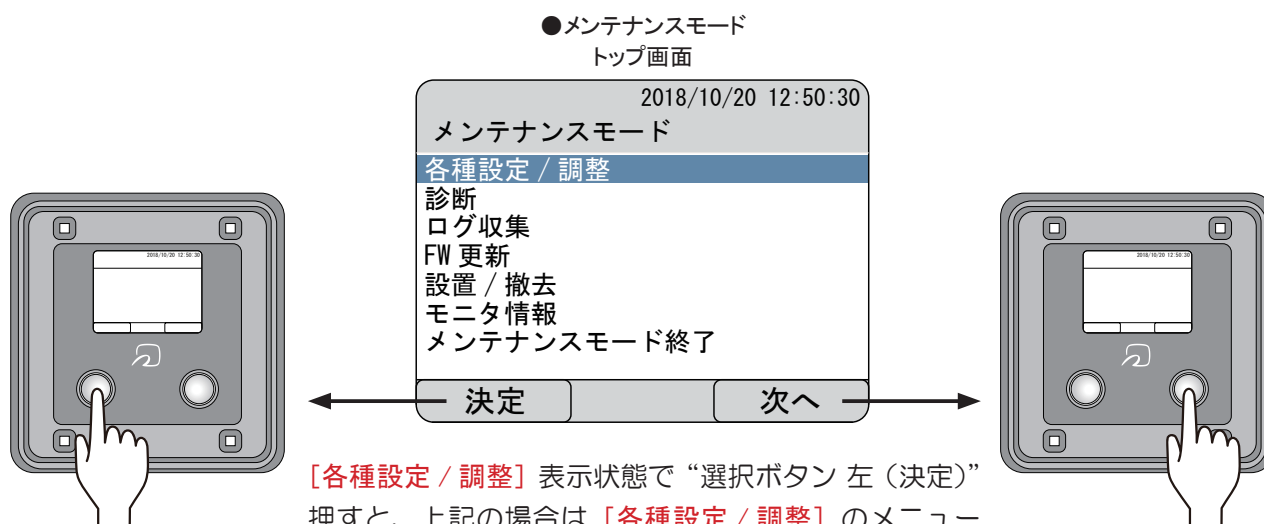
① 保守機能の概要

保守機能としては、以下の表に記載する機能が行えます。

No	機能	概要
1	各種設定 / 調整	以下に記載する事項の設定 / 調整が行えます。 ▶ 音量値の調整 ▶ ボタンLED、バックライトの輝度値の調整 ▶ バックライト消灯機能の有効・無効設定 ▶ バックライト消灯及び再点灯タイマの時間設定 ▶ 通信モードの設定 ▶ 外付けスキャナ利用設定（オプションカメラユニット使用時） ▶ モデム設定（通信モード「検量共用」使用時）
2	診断	※本機能は製造時確認用機能になります。
3	ログの収集	端末内のログをUSBに出力します。
4	FWの更新	端末のFW、または内蔵モデムのFWの更新を行います。
5	設置 / 撤去	設置 / 撤去時の操作が行えます。
6	情報確認	端末の情報の確認が行えます。

② 保守機能の操作

左下の「決定」および右下の「次へ」は、本ユニット前面の左ボタンおよび右ボタン押下時の動作となります。同様に、保守機能中の各画面は同じ画面構成となりますので、保守機能中の操作については左下および右下に表示される動作を確認し、前面選択ボタンを押下し操作してください。



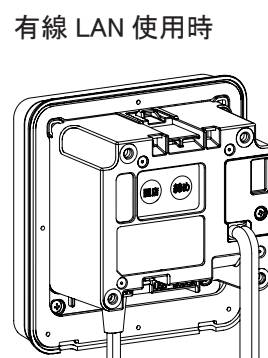
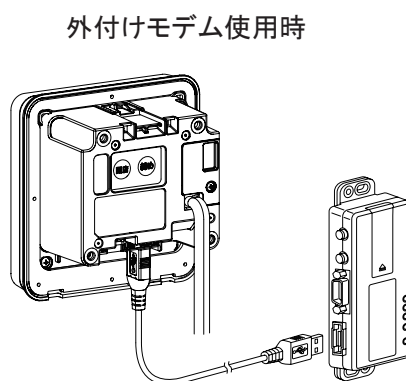
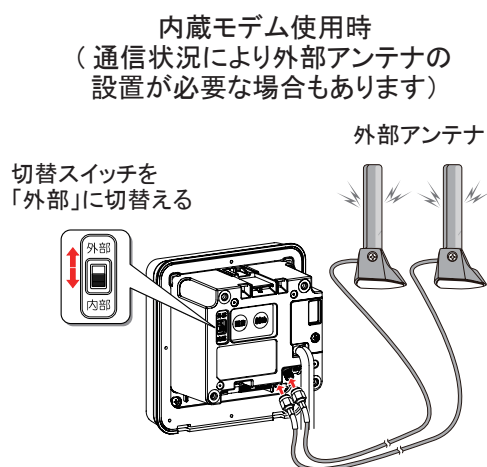
【各種設定 / 調整】表示状態で“選択ボタン 左（決定）”を押すと、上記の場合は【各種設定 / 調整】のメニュー画面へ推移します。
 項目を選択したい時は、“選択ボタン 右（次へ）”を順次押して、希望する項目に白抜きバーを移動させます。
 この様な操作を繰り返します。

③ 通信モードの設定

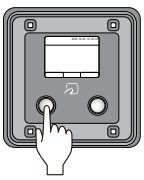
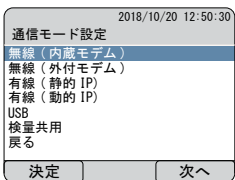
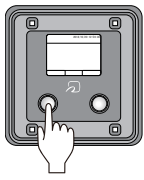
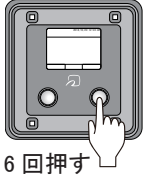
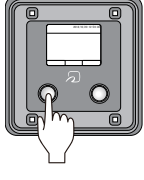
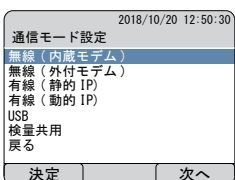
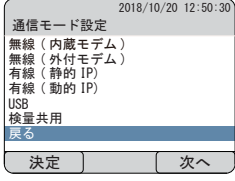
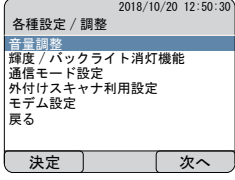
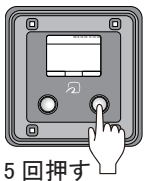
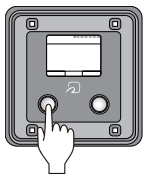
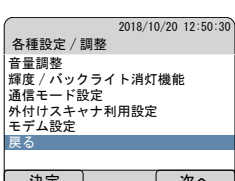
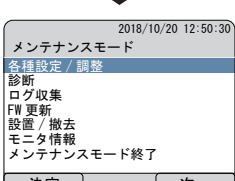
端末を使用する際の通信モードとしては、以下の 4 種類があります。ご使用する環境に合わせて、通信モードの設定を行ってください。

通信モードを設定する前に、選択するモードごとに事前準備・条件が必要となります。

No	通信モード	事前準備・条件
1	内蔵モデム	モデムが内蔵された端末をご使用の時のみ、選択してください。
2	外付けモデム	モデムを USB ポートに接続した状態で、選択してください。また接続するモデムの設定は完了できているものとします。
3	有線 LAN（静的 IP）	有線 LAN を接続した状態で選択してください。 発注時に対応のご相談をください。
4	有線 LAN（動的 IP）	有線 LAN を接続した状態で選択してください。 また、IP アドレスを割り当てる DHCP サーバにアクセスできる環境で選択してください。
5	検量共用	自販機検量とモデムを共用して通信を行います。 弊社担当営業とご相談ください。



手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	 2 回押す	[メンテナンスモード] トップ画面の [各種設定 / 調整] 表示状態で、“選択ボタン 左 (決定)” を押して、[各種設定 / 調整] メニュー画面を表示させます。 次に“選択ボタン 右 (次へ)” を 2 回押し、[通信モード設定] を選択します。	

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1		続いて、“選択ボタン 左（決定）” を押し、 【通信モード設定】 選択画面を表示させます。	
2	  6 回押す 	【無線（内蔵モデム）】 表示状態で、“選択ボタン 左（決定）” を押します。 通信モードは 【無線（内蔵モデム）】 に設定されます。 ※別の通信モードを使用する場合は、“選択ボタン 右（次へ）” を押し、選択する通信モードへ白抜きバーを移動します。 最下段まで移動すると、最上段に戻り繰り返します。 “選択ボタン 右（次へ）” を 6 回押し、 【戻る】 を選択し、“選択ボタン 左（決定）” を押して、 【各種設定 / 調整】 メニュー画面に戻ります。	 ↓  ↓ 
3	 5 回押す 	次に“選択ボタン 右（次へ）” を 5 回押し、 【戻る】 を選択し、“選択ボタン 左（決定）” を押して、 【メンテナンスモード】 のトップ画面へ戻します。	 ↓ 

●内蔵モデム利用上の注意

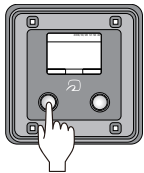
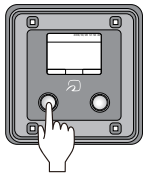
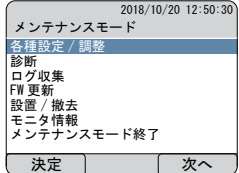
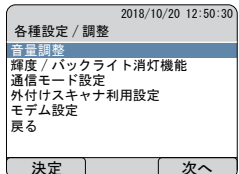
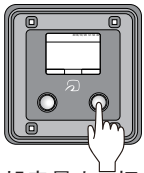
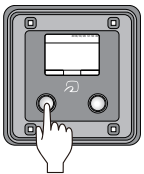
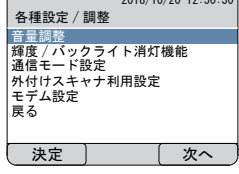
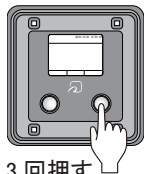
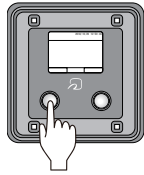
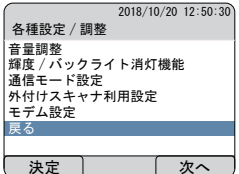
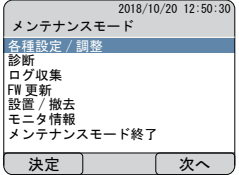
本端末の内蔵モデムは NTT ドコモ社の LTE 回線を利用しています。

スマートフォンで、LTE(4G)の表示がしており電波レベルが概ね4本の状態であることが必要となります。
5分程度の確認で、アンテナレベルが3本以下の時間が半分以上占める場合は、外部アンテナの取付をご検討ください。

なお、本端末はシンクライアント端末であり、常時通信環境が安定している必要があります。電波環境は強度だけでなく、質（電波干渉）の影響で決済に失敗することがあります。シャッターなどの遮蔽物によっても電波状態は変化しますので、決済の失敗が頻発する場合は外部アンテナの取付や LAN 回線の敷設をご検討ください。

④ 音量調整

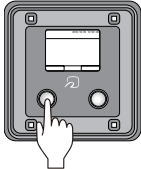
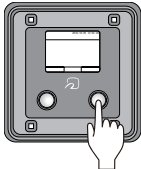
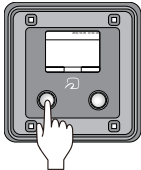
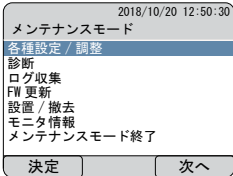
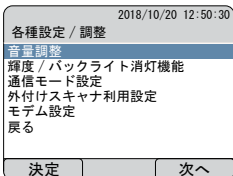
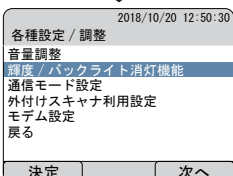
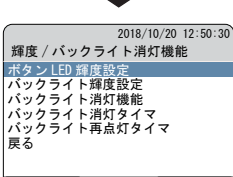
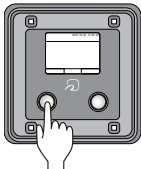
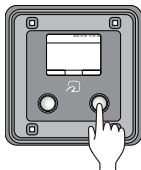
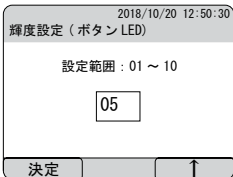
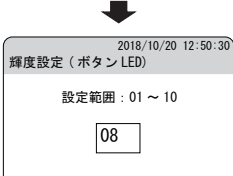
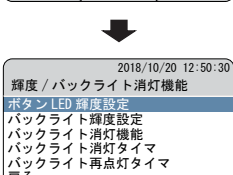
端末内で出力している決済完了時の決済音やボタン押下時の操作音の音量を変更することができます。
音量は 01 から 10 までの範囲で調整できます。
変更する場合「↑」で選択し、「決定」を選択することにより変更されます。

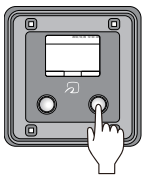
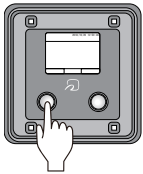
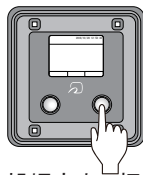
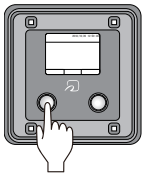
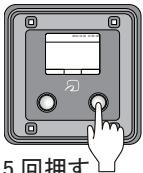
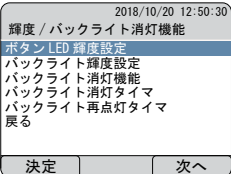
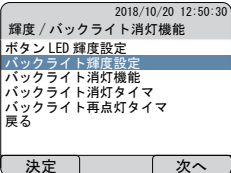
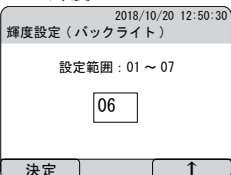
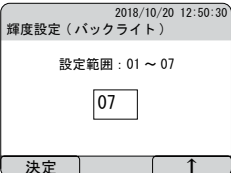
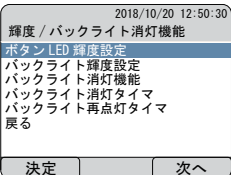
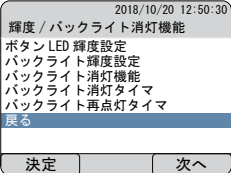
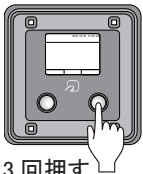
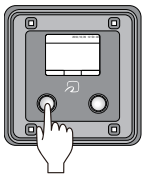
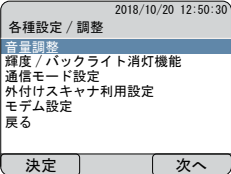
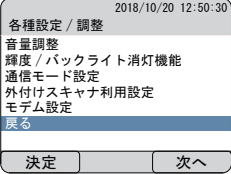
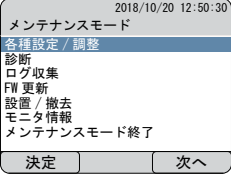
手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	 	[メンテナンスモード] トップ画面の [各種設定 / 調整] 表示状態で、“選択ボタン 左（決定）” を押して、[各種設定 / 調整] メニュー画面を表示させます。 続いて、[音量調整] 選択位置で“選択ボタン 左（決定）” を押し、[音量調整] 調整画面を表示させます。	 
2	 希望音量まで押す 	[音量調整] 調整画面で、“選択ボタン 右（↑）” を押し、希望する音量を選択します。 ※音量は「01」から「10」までの範囲で調整でき、+ 1 ずつ増加していきます。 音量を変更したら、その変更値に合わせた音量が「ピッ」音を鳴らします。 「10」まで増加すると、「01」に戻り、繰り返します。 尚、初期値は「06」に設定されています。 “選択ボタン 左（決定）” を押すと、希望の音量に設定され、[各種設定 / 調整] メニュー画面に戻ります。	●表示例 音量 06 → 07   
3	 3 回押す 	次に“選択ボタン 右（次へ）” を 5 回押し、[戻る] を選択し、“選択ボタン 左（決定）” を押して、[メンテナンスモード] のトップ画面へ戻します。	 

⑤ 輝度設定

選択ボタン LED 及び情報表示部の輝度を指定します。

- ・ 選択ボタン LED の輝度を 01 から 10 までの範囲で調整できます。
- ・ 情報表示部のバックライトの輝度を 01 から 07 までの範囲で調整できます。

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	  	[メンテナンスモード] トップ画面の [各種設定 / 調整] 表示状態で、“選択ボタン 左 (決定)” を押し、[各種設定 / 調整] メニュー画面を表示させます。 次に“選択ボタン 右 (次へ)” を押し、[輝度 / バックライト消灯機能] を選択します。 続いて、“選択ボタン 左 (決定)” を押し、[輝度 / バックライト消灯機能] メニュー画面を表示させます。	   
2	  希望輝度まで押す	●ボタン LED 輝度設定 [ボタン LED 輝度設定] 表示状態で、“選択ボタン 左 (決定)” を押します。 [ボタン LED 輝度設定] 調整画面で、“選択ボタン 右 (↑)” を押し、希望する輝度を選択します。 ※輝度は「01」から「10」までの範囲で調整でき、+ 1 ずつ増加していきます。 「10」まで増加すると、「01」に戻り、繰り返します。 尚、初期値は「05」に設定されています。 “選択ボタン 左 (決定)” を押すと、希望の輝度に設定され、[輝度 / バックライト消灯機能] メニュー画面に戻ります。	●表示例 輝度 05 → 08   

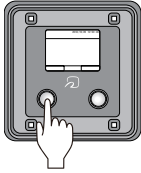
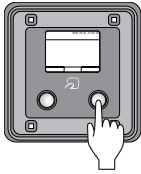
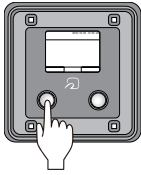
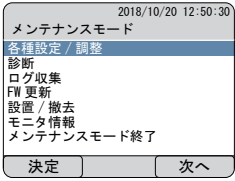
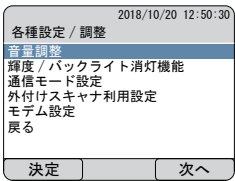
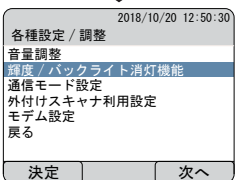
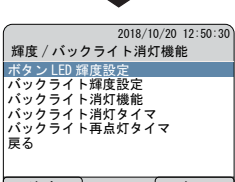
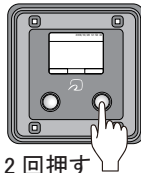
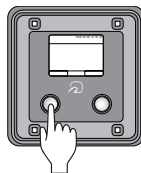
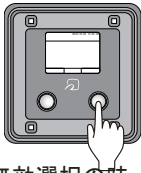
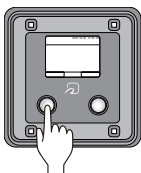
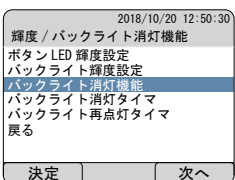
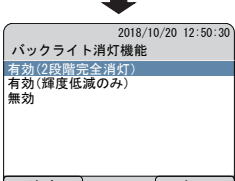
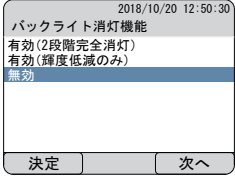
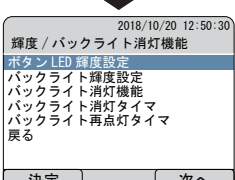
手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
3	   希望輝度まで押す   5 回押す	●バックライト輝度設定 [輝度 / バックライト消灯機能] メニュー画面で、“選択ボタン 右（次へ）” を押し、[バックライト輝度設定] を選択します。 [バックライト輝度設定] 表示状態で、“選択ボタン 左（決定）” を押します。 [バックライト輝度設定] 調整画面で、“選択ボタン 右（↑）” を押し、希望する輝度を選択します。 ※輝度は「01」から「07」までの範囲で調整でき、＋1 ずつ増加していきます。 「07」まで増加すると、「01」に戻り、繰り返します。 尚、初期値は「07」の設定されています。 “選択ボタン 左（決定）” を押すと、希望の輝度に設定され、[輝度 / バックライト消灯機能] メニュー画面に戻ります。 次に“選択ボタン 右（次へ）” を5 回押し、[戻る] を選択し、“選択ボタン 左（決定）” を押して、[各種設定 / 調整] メニュー画面へ戻します。	  ●表示例 輝度 06 → 07    
4	 3 回押す 	[各種設定 / 調整] メニュー画面で“選択ボタン 右（次へ）” を5 回押し、[戻る] を選択し、“選択ボタン 左（決定）” を押して、[メンテナンスモード] のトップ画面へ戻します。	  

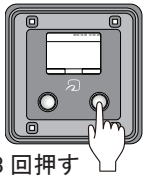
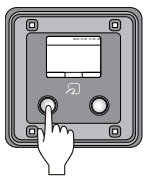
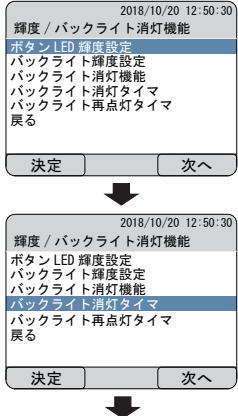
⑥ バックライト消灯機能の設定

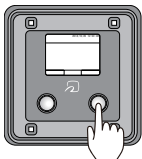
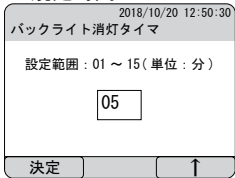
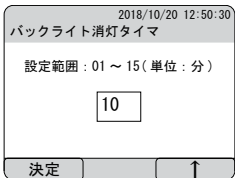
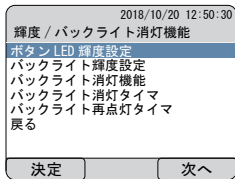
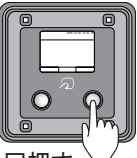
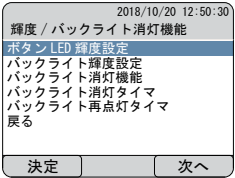
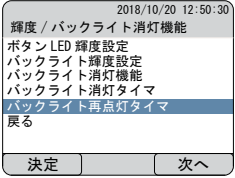
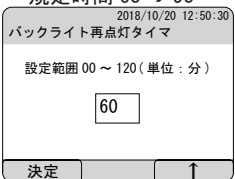
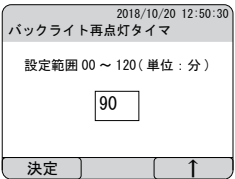
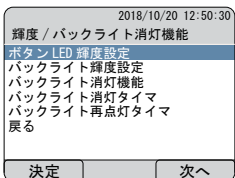
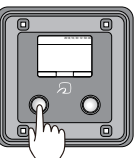
バックライト消灯機能の有効・無効を変更することができます。

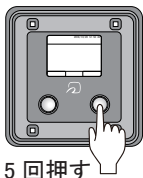
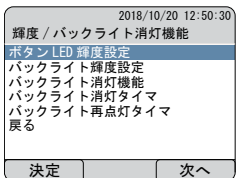
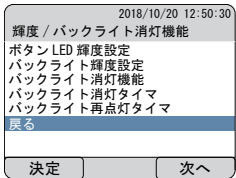
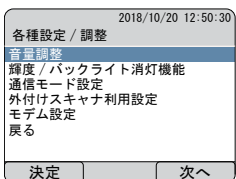
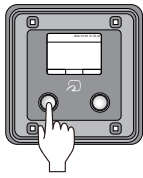
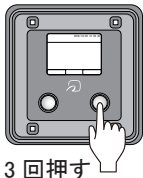
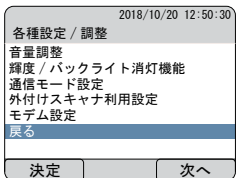
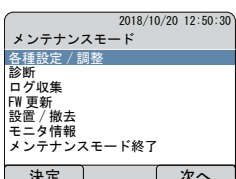
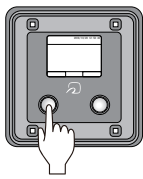
バックライト消灯機能が有効の時、規定時間何もユーザー操作が無かった場合、情報表示部のバックライトの輝度を変更される動作となります。

途中でユーザー操作があった場合は、設定されたバックライトの輝度に戻ります。

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	  	[メンテナンスモード] トップ画面の [各種設定 / 調整] 表示状態で、“選択ボタン 左 (決定)” を押し、[各種設定 / 調整] メニュー画面を表示させます。 次に“選択ボタン 右 (次へ)” を押し、[輝度 / バックライト消灯機能] を選択します。 続いて、“選択ボタン 左 (決定)” を押し、[輝度 / バックライト消灯機能] メニュー画面を表示させます。	   
2	 2 回押す   無効選択の時 	[輝度/バックライト消灯機能]メニュー画面で、“選択ボタン 右(次へ)”を2回押し、[バックライト消灯機能]を選択します。 [バックライト消灯機能]表示状態で、“選択ボタン 左(決定)”を押します。 [バックライト消灯機能]の[有効(2段階完全消灯)]/[有効(輝度低減のみ)]/[消灯]の選択画面を表示します。尚、初期値は「有効(輝度低減のみ)」に設定されています。 ※バックライト消灯機能を使用する場合は、[有効(2段階完全消灯)]または[有効(輝度低減のみ)]を選択して「決定」ボタンを押します。 ※バックライト消灯機能を使用しない場合は、「次へ」ボタンを押し、[無効]を選択して「決定」ボタンを押します。 いずれの場合も、“選択ボタン 左(決定)”を押すと、[バックライト消灯機能]の選択された機能が設定され、[輝度/バックライト消灯機能]メニュー画面に戻ります。	   

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
3		●有効（2段階完全消灯）を選択した場合、下記のように機能します。 1. 待機画面中 ↓ 2. 規定時間、ユーザー操作が何も行われない ※規定時間については、後述するバックライト消灯タイマ時間によって設定できます。 ↓ 3. 現在の輝度の半分の輝度値で、情報表示部のバックライトの輝度を変更される ※画面の明るさが半分程度に減灯されます。 ↓ 4. 更に、規定時間、ユーザー操作が何も行われない ↓ 5. 情報表示部のバックライトの輝度が消灯する ※画面が消灯し、何も見えなくなります。 ●有効（輝度低減のみ）を選択した場合、下記のように機能します。 1. 待機画面中 ↓ 2. 規定時間、ユーザー操作が何も行われない ※規定時間については、後述するバックライト消灯タイマ時間によって設定できます。 ↓ 3. 現在の輝度の半分の輝度値で、情報表示部のバックライトの輝度を変更される。 ※画面の明るさが半分程度に減灯されます。	●表示例  ●表示例 
4	 3回押す 	●バックライト消灯タイマ時間を設定します。 [輝度 / バックライト消灯機能] メニュー画面で、“選択ボタン 右(次へ)”を3回押し、[バックライト消灯タイマ]を選択します。 [バックライト消灯タイマ]表示状態で、“選択ボタン 左(決定)”を押します。	●表示例 

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
4	 設定時間まで押す	[バックライト消灯タイマ] 設定画面で、“選択ボタン 右(↑)” を押し、設定時間を調整します。 ※設定時間は[01分]から[05分][10分][15分]の4段階に調整できます。 [15]まで推移すると、[01]に戻り、繰り返します。 尚、初期値は[10]に設定されています。 “選択ボタン 左(決定)” を押すと、変更した設定時間に設定され、[輝度 / バックライト消灯機能] メニュー画面に戻ります。	●表示例 規定時間 05 → 10  ↓  ↓ 
5	 4 回押す	●バックライト再点灯タイマ時間を設定します。 [輝度 / バックライト消灯機能] メニュー画面で、“選択ボタン 右(次へ)” を4回押し、[バックライト再点灯タイマ] を選択します。	 ↓  ↓ ●表示例 規定時間 60 → 90  ↓  ↓ 
	 設定時間まで押す	[バックライト再点灯タイマ] 設定画面で、“選択ボタン 右(↑)” を押し、設定時間を調整します。 ※設定時間は[00分]から[30分][60分][90分][120分]の5段階に調整できます。 [120]まで推移すると、[00]に戻り、繰り返します。 尚、初期値は[60]に設定されています。 [バックライト再点灯タイマ] 機能は[バックライト消灯機能] を[有効(輝度低減のみ)] に設定した場合は無効になります。 “選択ボタン 左(決定)” を押すと、変更した規定時間に設定され、[輝度 / バックライト消灯機能] メニュー画面に戻ります。	

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
6	 5 回押す	[輝度 / バックライト消灯機能] メニュー画面で、“選択ボタン 右 (次へ)” を5回押し、[戻る] を選択します。	  
		次に、“選択ボタン 左(決定)”を押し、[各種設定 / 調整] メニュー画面を表示させます。	
7	 3 回押す	続いて、“選択ボタン 右 (次へ)” を5回押し、[戻る] を選択し、“選択ボタン 左 (決定)” を押して、[メンテナンスモード] のトップ画面へ戻します。	 
			

⑦ ログ収集

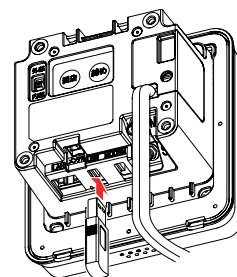
端末内のログを USB メモリに出力することができます。

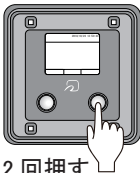
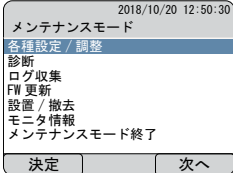
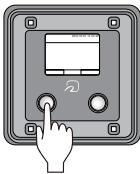
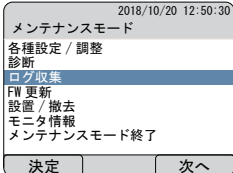
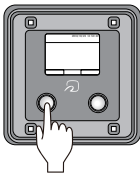
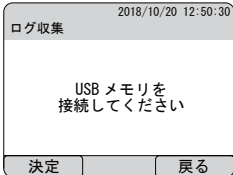
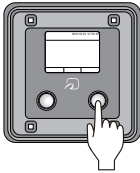
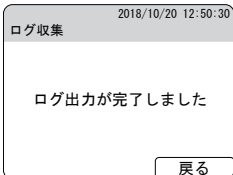
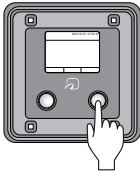
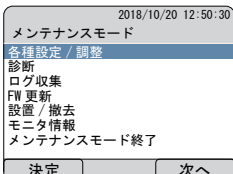
任意の USB メモリを Ethernet ポート側の USB ポートに接続してください。

完了画面が表示されたら、USB メモリを抜いてください。下記のファイル名で端末内のログファイルが格納されております。

・ 端末シリアル番号 _YYYYMMDD_hhmmss_log.zip

※本機能は機器の調査用機能ですので、使用者が内容を確認できるものではありません。



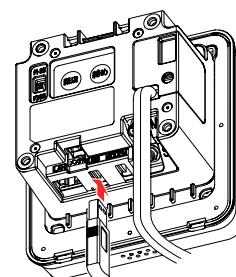
手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	 2 回押す	[メンテナンスモード] トップ画面で、“選択ボタン 右（次へ）” を 2 回押して、[ログ収集] を選択します。	
		次に、“選択ボタン 左（決定）” を押し、[ログ収集] 待機画面 [USB メモリを接続してください] を表示させます。 ※任意の USB メモリを Ethernet ポート側の USB ポートに接続してください。	
		続いて、“選択ボタン 左（決定）” を押すと、[ログ出力中しばらくお待ちください ...] 画面を表示します。 ※ログ収集を中止する場合、[キャンセル] ボタンを押すと、[メンテナンスモード] トップ画面に戻ります。	
		ログ出力が完了すると、[ログ出力が完了しました] 画面を表示します。	
		ログ出力に成功したら、[戻る] の “選択ボタン 右（戻る）” を押すと、[メンテナンスモード] トップ画面に戻ります。 ※USB メモリを USB ポートから引き抜いてください。 ファイル名は、下記になります。確認してください。 ・ 端末シリアル番号 _YYYYMMDD_log.zip	

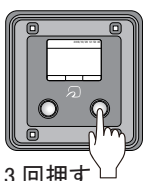
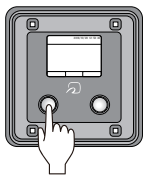
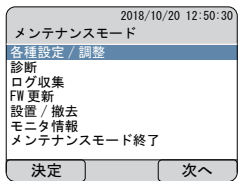
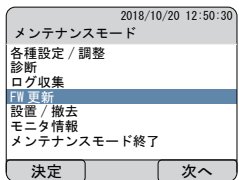
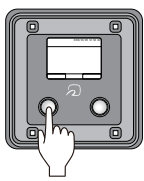
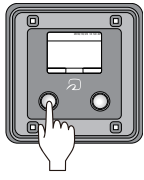
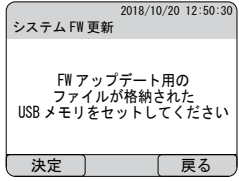
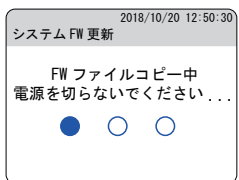
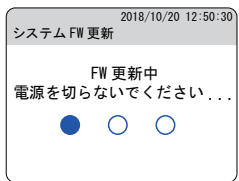
⑧ ソフトウェア更新

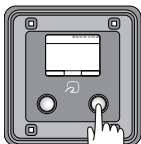
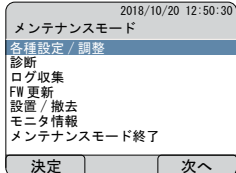
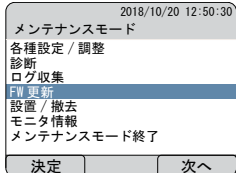
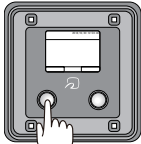
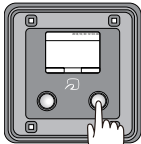
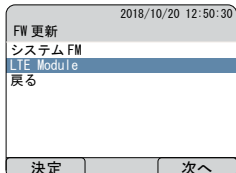
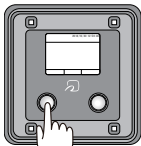
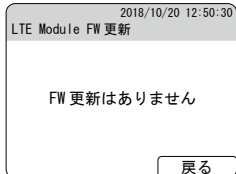
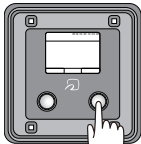
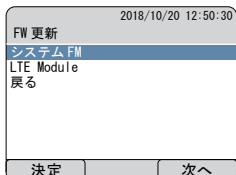
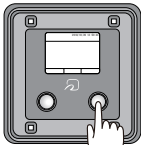
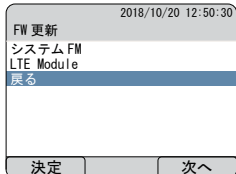
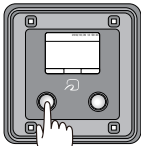
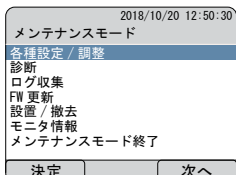
ソフトウェアの更新は通常オンラインで配信されます。また、オフラインでのアップデートを行う場合は、専用のUSBメモリを利用いただくことで、端末のソフトウェアおよび内蔵モデムのソフトウェアを更新することができます。

※アップデートには、専用のUSBメモリを利用ください。

専用のUSBメモリ以外でのアップデートは、誤動作や故障の原因となります。



手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	 3 回押す 	[メンテナンスモード] トップ画面で、“選択ボタン 右（次へ）” を 3 回押して、[FW 更新] を選択します。 “選択ボタン 左（決定）” を押し、[FW 更新] メニュー画面を表示させます。	  
2	 	次に、“選択ボタン 左（決定）” を押し、[システム FW 更新] 更新確認画面 [FW アップデート用のファイルが格納された USB メモリをセットしてください] を表示させます。 ※USB メモリを Ethernet ポート側の USB ポートに接続してください。 ※中止する場合、[戻る] ボタンを押すと、[FW 更新] メニュー画面に戻ります。 続いて、“選択ボタン 左（決定）” を押すと、[FW ファイルコピー中電源を切らないでください ...] 画面表示し、続いて [FW 更新中電源を切らないでください ...] 表示します。 尚、ソフトウェアの更新時に再起動が発生する場合があります。更新完了するまでお待ちください。 再起動すると待機状態に戻ります。 [メンテナンスモード] トップ画面に戻ります。	  

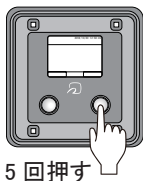
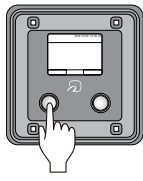
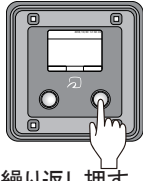
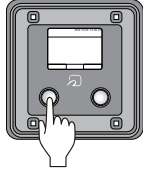
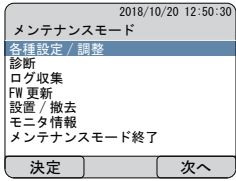
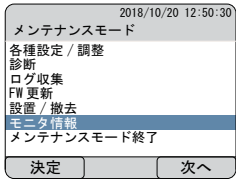
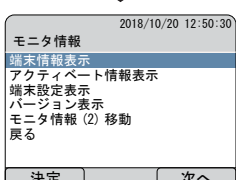
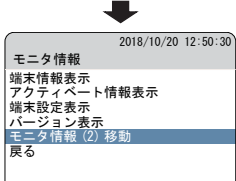
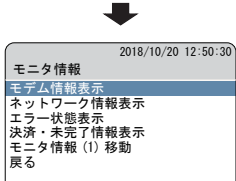
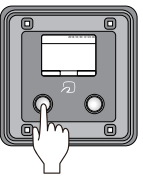
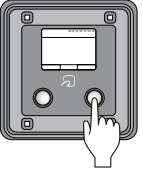
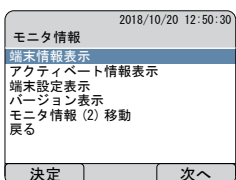
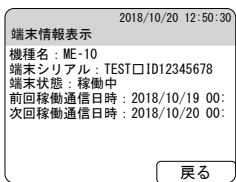
手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
3	 3 回押す	[メンテナンスモード] トップ画面で、“選択ボタン 右（次へ）” を3 回押して、 [FW 更新] を選択します。	  
		“選択ボタン 左（決定）” を押し、 [FW 更新] メニュー画面を表示させます。	
4		[FW 更新] メニュー画面で、“選択ボタン 右（次へ）” を押して、 [LTE Module] を選択します。	
		次に、“選択ボタン 左（決定）” を押すと、更新作業は自動的に進みます。 更新が終了すると、確認画面 [FW 更新はありません] を表示します。	
		続いて、“選択ボタン 右（戻る）” を押すと、 [FW 更新] メニュー画面を表示します。	
5		“選択ボタン 右（次へ）” を2 回押し、 [戻る] を選択し、“選択ボタン 左（決定）” を押して、 [メンテナンスモード] のトップ画面へ戻します。	
			

⑨ 情報確認

機種名や端末シリアルなどの、端末の主要な情報が表示されます。

トップ画面から、「モニタ情報」→「端末情報表示」の順に選択してください。

各種の端末情報が確認できます。

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
1	 5 回押す   繰り返し押す 	[メンテナンスモード] トップ画面で、“選択ボタン 右（次へ）” を 5 回押して、[モニタ情報] を選択します。 “選択ボタン 左（決定）” を押し、[モニタ情報] メニュー画面を表示させます。 ※メニュー画面から確認したい情報を“選択ボタン 右（次へ）” で選んでください。 ※また、[モニタ情報 (2) 移動] を選択して“選択ボタン 左（決定）” を押すと、[モニタ情報 (2)] メニュー画面を表示します。 ●下記に記述する 8 つの情報を確認できます。 1. 端末情報表示 2. アクティベート情報表示 3. 端末設定表示 4. バージョン表示 5. モデム情報表示 6. ネットワーク情報表示 7. エラー状態表示 8. 決済・未完了情報表示	 ↓  ↓  ↓  ↓ 
2	 	1. 端末情報表示を確認する場合の操作例。 [端末情報表示] を選択して“選択ボタン 左（決定）” を押すと、[端末情報表示] 確認画面を表示します。 次に、“選択ボタン 右（戻る）” を押すと、[モニタ情報] メニュー画面に戻ります。 ※同様な操作を繰り返すことにより、確認したい情報を得られます。	 ↓ ↑ ●表示例 

手順	操 作	操 作 内 容	情報表示部の表示
3		終了するには、「モニタ情報」 又は 「モニタ情報 (2)」 メニュー画面で、“選択ボタン 右 (次へ)” で 「戻る」 を選択します。 次に、“選択ボタン 左 (決定)” を押すと、「メンテナンスモード」 トップ画面に戻ります。 ※以下に、各情報の詳細を記載します。	The sequence shows the following steps: モニタ情報 (2018/10/20 12:50:30): Menu includes 端末情報表示, アクティベート情報表示, 端末設定表示, バージョン表示, モニタ情報 (2) 移動, and 戻る. Buttons: 決定, 次へ. モニタ情報 (2018/10/20 12:50:30): Menu includes モデム情報表示, ネットワーク情報表示, エラー状態表示, 決済・未完了情報表示, モニタ情報 (1) 移動, and 戻る. Buttons: 決定, 次へ. モニタ情報 (2018/10/20 12:50:30): Menu includes 端末情報表示, アクティベート情報表示, 端末設定表示, バージョン表示, モニタ情報 (2) 移動, and 戻る. Buttons: 決定, 次へ. モニタ情報 (2018/10/20 12:50:30): Menu includes モデム情報表示, ネットワーク情報表示, エラー状態表示, 決済・未完了情報表示, モニタ情報 (1) 移動, and 戻る. Buttons: 決定, 次へ. メンテナンスモード (2018/10/20 12:50:30): Menu includes 各種設定 / 調整, 診断, ログ収集, FW更新, 設置 / 撤去, モニタ情報, and メンテナンスモード終了. Buttons: 決定, 次へ.

1. 端末情報表示

機種名や端末シリアルなどの、端末の主要な情報が表示されます。

●表示例

2018/10/20 12:50:30

端末情報表示

機種名: ME-10

端末シリアル: TEST□ID12345678

端末状態: 稼働中

前回稼働通信日時: 2018/10/19 00:

次回稼働通信日時: 2018/10/20 00:

戻る

No.	情報名	内容
1	機種名	端末の機種名が表示されます。
2	端末シリアル	端末に設定される一意のシリアル番号が表示されます。
3	端末状態	端末の内部状態が表示されます。
4	前回稼働通信日時	端末が端末管理サーバーと通信を行った、直近の日時が表示されます。
5	次回稼働通信日時	端末が次回端末管理サーバーと通信を行う日時が表示されます。

2. アクティベート情報表示

アクティベート情報表示に記載される内容は以下の通りです。

●表示例

2018/10/20 12:50:30

アクティベート情報表示

申込通番 : 54321098761
ユニーク ID : A1B2C3D4E5F6UNIQ
プロダクトキー : 75a2nggk0vbwgo3j
開局済 :
交通系, nanaco, WAON, iD, QP, 楽天Edy
共 (LINE, WeChat, ALipay), 楽天ペイ,
PayPay

戻る

No	情報名	内容
1	申込通番	端末管理サーバーから割り振られた一意の番号が表示されます。
2	ユニーク ID プロダクトキー	アクティベート処理時、端末に割り振られた一意のユニーク ID および プロダクトキーが表示されます。
3	開局済	端末内で開局済みの決済マネー種別が表示されます。

3. 端末設定表示

端末設定表示に記載される内容は以下の通りです。

●表示例

2018/10/20 12:50:30

端末設定表示

音量値 : 3
ボタン LED 輝度 : 5
バックライト輝度 : 5
バックライト消灯機能 : ON
バックライト消灯タイマ : 10 分
バックライト再点灯タイマ : 30 分
通信モード : 有線 (動的 IP)

戻る

No	情報名	内容
1	音量値	音量値 (「④音量調整」で設定した内容) が表示されます。
2	ボタン LED 輝度	ボタン LED の輝度 (「⑤輝度設定」で設定した内容) が表示されます。
3	バックライト輝度	バックライトの輝度 (「⑤輝度設定」で設定した内容) が表示されます。
4	バックライト消灯機能	バックライト消灯機能の有効 / 無効 (「⑥バックライト消灯機能の有効・無効」で設定した内容) が表示されます。
5	バックライト消灯タイマ	バックライト消灯タイマの設定時間 (「⑥バックライト消灯機能の設定時間」で設定した内容) が表示されます。
6	バックライト再点灯タイマ	バックライト再点灯タイマの設定時間 (「⑥バックライト消灯機能の設定時間」で設定した内容) が表示されます。
7	通信モード	通信モード (「③通信モードの設定」で設定した内容) が表示されます。

4. バージョン表示

バージョン表示に記載される内容は以下の通りです。

●表示例

2018/10/20 12:50:30

バージョン表示

システム : 1.0 abc
Main CPU : 1.234-a
Sub CPU : 2.5 rev.A
HW : 1.0 revision 5

戻る

No	情報名	内容
1	システム	端末のソフトウェア全体のバージョンが表示されます。
2	Main CPU	端末内のソフトウェアバージョンが表示されます。
3	Sub CPU	端末と自販機の通信部ソフトウェアのバージョンが表示されます。
4	HW	端末のハードウェアバージョンが表示されます。

5. モデム情報表示

端末内蔵のモデム情報表示に記載される内容は以下の通りです。

●表示例

2018/10/20 12:50:30

モデム情報表示

アンテナレベル : 2
接続先 : 1
製造番号 : 24576
製品名 : UM04-K0
UIM 識別番号 : 1234567890135792468
電話番号 : 090XXXXXXX
バージョン : Ver1.00

戻る

No	情報名	内容
1	アンテナレベル	アンテナレベルが数値で表示されます。
2	接続先	内蔵モデムのパケット発信時の接続先が表示されます。
3	製造番号	内蔵モデムの製造番号が表示されます。
4	製品名	内蔵モデムの製品名が表示されます。
5	UIM 識別番号	内蔵モデムに接続されたドコモ UIM カードの識別番号が表示されます。
6	電話番号	内蔵モデムに接続されたドコモ UIM カードの電話番号が表示されます。
7	バージョン	内蔵モデムのバージョン情報が表示されます。

6. ネットワーク情報表示

ネットワーク情報表示に記載される内容は以下の通りです。

●表示例

2018/10/20 12:50:30

ネットワーク情報表示

IP アドレス : 192.168.1.3
MAC アドレス : 5E:FB:A8:A6:C9:D3
サブネットマスク : 225.255.255.0
デフォルトGW : 192.168.
DNS 設定 : 2.2.2.2, 10.4.4.4

戻る

No	情報名	内容
1	IP アドレス	IP アドレスが表示されます。
2	MAC アドレス	端末の MAC アドレスが表示されます。
3	サブネットマスク	サブネットマスクが表示されます。
4	デフォルト GW	デフォルトゲートウェイのアドレスが表示されます。
5	DNS 設定	DNS サーバーのアドレスが表示されます。

7. エラー状態表示

1つの画面につき5種までエラー状態が表示されます。発生しているエラー状態が6種以上ある場合、右記のように**【次項】**ボタンが表示されます。

【次項】 ボタンを押すと、残りのエラー状態が表示されます。

また、エラー状態が何も発生していない場合は、**【エラー発生なし】** と表示されます。

エラー状態表示に記載される内容は以下の通りです。

●表示例

2018/10/20 12:50:30

エラー状態表示

メモリ系
初期化
通信系
アクティベート
開局

次項

戻る

No	エラー状態名	内容
1	メモリ系	端末のメモリに異常発生
2	初期化	ソフトウェアの初期化処理で異常発生
3	通信系	ネットワーク処理で異常発生
4	アクティベート	アクティベート処理で異常発生
5	開局	開局処理で異常発生
6	SUBCPU 間	自販機との通信で異常発生
7	R/W	電子マネーカード読み取り部との通信で異常発生
8	決済	決済処理で異常発生
9	診断	保守機能の診断中に異常検知
10	アップデート	アップデート処理中に異常発生
11	タンパ	タンパ発生（セキュリティ異常、利用不可）

8. 決済・未完了情報表示

決済・未完了表示に記載される内容を確認する操作は、以下の通りです。

- ① “選択ボタン 左（決定）” を押すと、反転された項目を確認できます。
 - ② 続いて、“選択ボタン 右（次へ）” を押し、必要とする項目を反転し、選択ボタン 左（決定）” を押すと、反転された項目を確認できます。
- 以上の操作を繰り返し各項目を確認してください。

2019/10/20 12:50:30

決済・未完了情報表示

決済（電子マネー）

決済（QR）

未完了（電子マネー）

未完了（QR）

戻る

決定

次へ

●決済（電子マネー）/ 決済（QR）

次の決済情報を表示する場合は **【次項】** ボタンを押してください。次の決済情報が無い場合は **【次項】** ボタンは表示されません。

また、決済情報が1件も無い場合は、**【決済情報なし】** と表示されます。
直近5件分の決済情報が表示され、内容は以下の通りです。

●表示例 決済（電子マネー）

2019/10/20 12:50:30

決済情報表示

日時：2019/09/19 11:02:49

決済ID：0000000026

マネー種別：交通系

商品ID：000000000026

商品金額：000026

処理結果：OK

次項

戻る

No	情報名	内容
1	日時	決済が行われた日時が表示されます。
2	決済ID	決済時に端末内部で使用した、一意のID番号が表示されます。
3	マネー種別	決済が行われた電子マネー種別が表示されます。
4	商品ID	自販機の商品番号が表示されます。
5	商品金額	商品の決済金額が表示されます。
6	処理結果	決済の処理結果がOKもしくはNGで表示されます。
7	エラーコード	上記「処理結果」がNGの場合のみ表示され、エラーコード番号が表示されます。

※エラーコードについては、24 エラーコード表を参照ください。

●表示例 決済（QR）

2019/10/20 12:50:30

決済情報表示

日時：2019/09/19 11:02:49

取引No：0000000016

マネー種別：LINE Pay

商品ID：000000000026

商品金額：000026

処理結果：OK

次項

戻る

●未完了（電子マネー）/ 未完了（QR）

表示例は下図の通りです。

また、未完了情報が1件も無い場合は、**【未完了情報なし】** と表示されます。

●表示例 未完了（電子マネー）

2019/10/20 12:50:30

未完了（電子マネー）表示

日時：2019/09/19 11:02:49

決済ID：0000000026

マネー種別：交通系

引去金額：000026

戻る

●表示例 未完了（QR）

2019/10/20 12:50:30

未完了（QR）表示

日時：2019/09/19 11:02:49

取引No：0000000016

引去金額：000026

戻る

19 // 「故障かな？」と思ったら

キャッシュレスユニットが動作しない。動作がおかしい場合は、以下の内容を確認ください。

1. 現金での販売操作ができますか。

現金での販売操作ができない状態で、電子マネー販売はできません。

自動販売機の状態を確認してください。

2. ハーネスの接続を確認ください。

自動販売機の接続先ケーブルが複数ある場合は、別のケーブルでも同様か確認ください。

3. 自動販売機の設定

原則本端末は自動販売機などの上位機器の設定は不要です。

販売価格が0円で設定されていると販売できませんので、価格設定をお願いします。

他端末から変更の場合、予め設定のクリア（マネーブランドクリア）が必要な場合があります。

マネーブランドクリアの手順については、自動販売機によって異なります

状 態	対 応
電波状態が不安定で、決済に時間が掛かります。	電波状態が不安定な場合、残高照会、決済ができない・時間が掛かることがあります。 外部アンテナを取り付けることで改善される場合がありますので、外部アンテナの取付をご検討ください。
「キャッシュレス決済はお取り扱いできません」が表示しています。	①アンテナ切り替えスイッチの状態を確認ください。外部アンテナを利用している場合は、スイッチを「外部」に切り替え利用ください。
	②電波が不安定な場合があります。外部アンテナの取付をご検討ください。既に取付頂いている場合は、設置場所を変えてください。それでも改善しない場合は自動販売機の変更をご検討ください。
	③端末がサーバ未登録、故障の可能性があります。 サポートセンターに確認をお願いします。

状 態	対 応
一部のマネーが使えません。	①電波状態が不安定の可能性があります。自動販売機の電源を OFF-ON し状態を確認ください。また、外部アンテナの取付をご検討ください。
	②マネーの利用申請がされていない可能性があります。サポートセンターに確認をお願いします。
	③利用開始日前の可能性があります。サポートセンターに確認をお願いします。
設置時に「キャッシュレス決済はお取り扱いできません」が表示が、5分以上待っても変わりません。	端末登録が完了していない可能性があります。製品添付の設置情報シート（設置先名が書かれた紙）記載のサポートセンターに確認をお願いします。
	自動販売機側の設定が必要な可能性があります。サポートセンターに確認をお願いします。
設置時マネー表示がしません。	新規設置、在庫品設置の際、電源投入後、一旦マネー表示がした後に更新作業が行われる場合があります。概ね 10 分程度掛かりますので、自動販売機の電源を切らずにお待ちください。
設置時にマネー表示の後に「しばらくお待ちください」が表示します。	
設置時「アップデート中」表示がします。	
「起動中」表示のまま、表示が変わりません。	自動販売機のリモコンにエラーが無いか確認ください。エラーがある場合はエラーを解除ください。10 分以上同じ表示が続く場合は自動販売機の電源を切り端末のコネクタを抜き差し後、自動販売機の電源を入れてください。
締めボタンを押しても締め処理の通信がしません。	自動販売機側で異常（紙詰まりなど）発生して失敗していることが考えられます。自動販売機側のエラーを解除ください。また、強制的に締め処理を行う場合はメンテメニューより「単独締め処理」を行ってください。
nanaco で自動選択による決済ができません。	nanaco カードは、QUICPay の利用も可能となっております。そのため nanaco カードでの決済の際は、マネー選択ボタンで nanaco マネーを選んでから、カードをタッチしてください。

20 // 日常のお手入れ

タッチ部は、カード、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなると情報表示部等が見にくくなりますので、1～3ヶ月ぐらいに1度必要に応じて清掃してください。

{上位接続機器（自動販売機等）の構造、設置場所により異なります。}

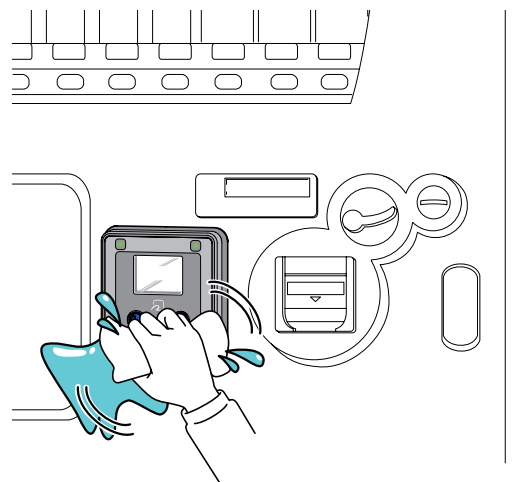


【注意】

酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー系の溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
変形や変色、故障の原因になります。

① タッチ部の清掃

タッチ部の表面を柔らかい布で汚れを拭き取ってください。



21 // 一般仕様

仕様及びデザインは改良のため予告なく変更することがあります。

項目		仕様	
名称		シンククライアント型マルチマナー端末	
モデル		LTE 通信機能内蔵	LTE 通信機能外付け
型式		ME-10-1	ME-10-2
非接触 IC カード インタフェース	電波法区分	総務省の型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備	
	通信方式	FeliCa リーダライタモード	
上位装置インタフェース		JVMA モバイルベンディング仕様 (V1.04)	
LTE インタフェース	モデムタイプ	内蔵	外部（お客様準備）
	モデムモジュール	NTT ドコモ UM04-KO	PERCUL UM-O4KO（USB 接続）
	アンテナ	内蔵／外部	外部
	外部アンテナ	*：弊社にお問い合わせください	
	アンテナ切り替え	背面スイッチ	なし
Ethernet インタフェース		10BASE-T / 100BASE-TX	
USB メモリ インタフェース	USB ポート	USB 2.0 Full Speed / Type-A	
	5V 供給電流	500mA	
	動作確認済 USB メモリデバイス	ELECOM 4GB MF-MSU204GWH BUFFALO 8GB USB2.0 SONY 4GB	
メンテナンス PC インタフェース		RS232C I/F	
自販機オンラインインタフェース		RS232C I/F	非対応
電源	電圧	DC+24V ± 10%（JVMA I/F 経由で供給）	
	消費電流	約 300mA	
外形寸法		自販機外：縦 130 × 横 125 × 奥 25[mm] 自販機内：縦 87.5 × 横 99.5 × 奥 47[mm]	
質量		約 0.6kg	約 0.5kg
動作環境	動作温度範囲	-15℃ ～ +60℃	
	動作湿度範囲	30 ～ 85%RH（結露なきこと）	
保存環境	保存温度範囲	-20℃ ～ +70℃	
	保存湿度範囲	30 ～ 85%RH（結露なきこと）	
添付品		取付ブラケット × 1 ブラケット固定ネジ（S タイプ M4 × 8）× 4 ブラケット固定ネジ（S タイプ M5 × 10）× 4 端末固定ネジ（M4 × 15 黒色）× 4	

22 // 接続端子の信号条件

①コネクタ仕様

本ユニットのコネクタ仕様を示します。

(1) Ethernet インタフェースコネクタ

1) Ethernet インタフェースコネクタ仕様

項目	型式名	メーカー名	備考
RJ-45 コネクタ	PTL-TJ-N-M	JIROTECH	

2) Ethernet インタフェースコネクタのピンアサイン

ピン番号	信号名	タイプ	備考
1	TXD+	Differential I/O	
2	TXD-	Differential I/O	
3	RXD+	Differential I/O	
4	-	-	
5	-	-	
6	RXD-	Differential I/O	
7	-	-	
8	-	-	

(2) USB インタフェースコネクタ

1) USB インタフェースコネクタ仕様

項目	型式名	メーカー名	備考
USB TypeA	UBAL-4R-D14-4S	JST	

2) USB インタフェースコネクタのピンアサイン

ピン番号	信号名	タイプ	備考
1	V _{BUS}	POWER	
2	D-	Differential I/O	
3	D+	Differential I/O	
4	GND	POWER	

(3) 自動販売機インタフェース (JVMA) コネクタ

1) 自動販売機インタフェース (JVMA) コネクタ仕様

項目	型式名	メーカー名	備考
リセプタクル	XLR-08V	JST	
プラグ	XLP-08V	JST	

2) 自動販売機インタフェース (JVMA) のピンアサイン

ピン番号	信号名	タイプ	備考
1	+24V	POWER	+24V 電源入力
2	-	-	リセプタクル-プラグ間接続
3	-	-	
4	SYN	Input	
5	OUT	Input	
6	IN	Output	
7	-	-	
8	GND	POWER	

(4) 自販機オンラインインタフェースコネクタ

1) 自販機オンラインインタフェースコネクタ仕様

項目	型式名	メーカー名	備考
自販機オンライン	JEC-9P-3	JST	D-SUB9 ピン (オス)

2) 自販機オンラインインタフェースコネクタのピンアサイン

ピン番号	信号名	タイプ	備考
1	CD	Output	
2	RD	Output	
3	SD	Input	
4	ER	Input	
5	GND	POWER	
6	DR	Output	
7	RS	Input	
8	CS	Output	
9	-	-	

(5) LTE 外部アンテナインタフェースコネクタ

1) LTE 外部アンテナインタフェースコネクタ仕様

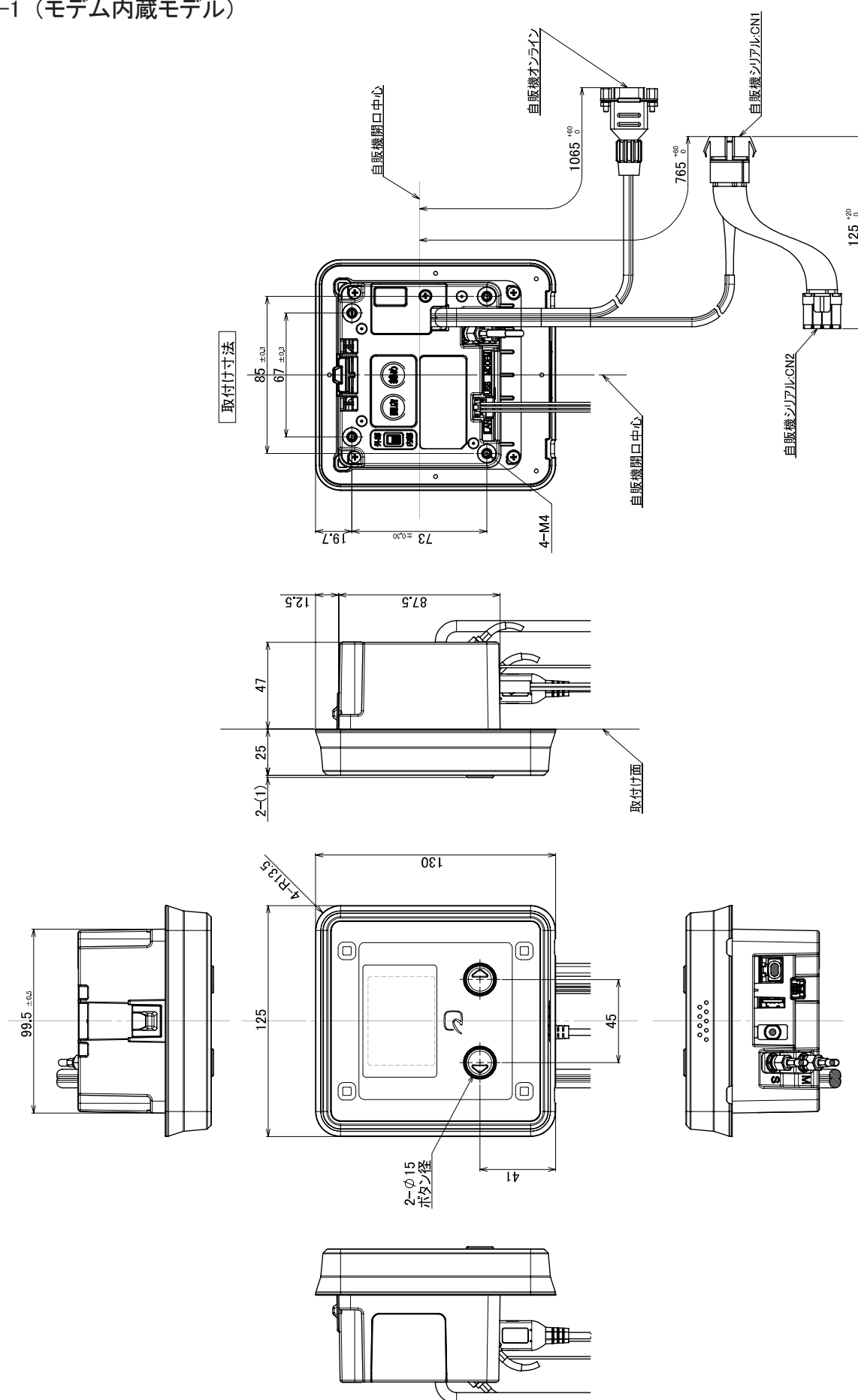
項目	型式名	メーカー名	備考
SMA コネクタ	SMA-BJ-0.66AS(Au)	トーコネ	MAIN/SUB 共通

2) LTE 外部アンテナインタフェースコネクタのピンアサイン

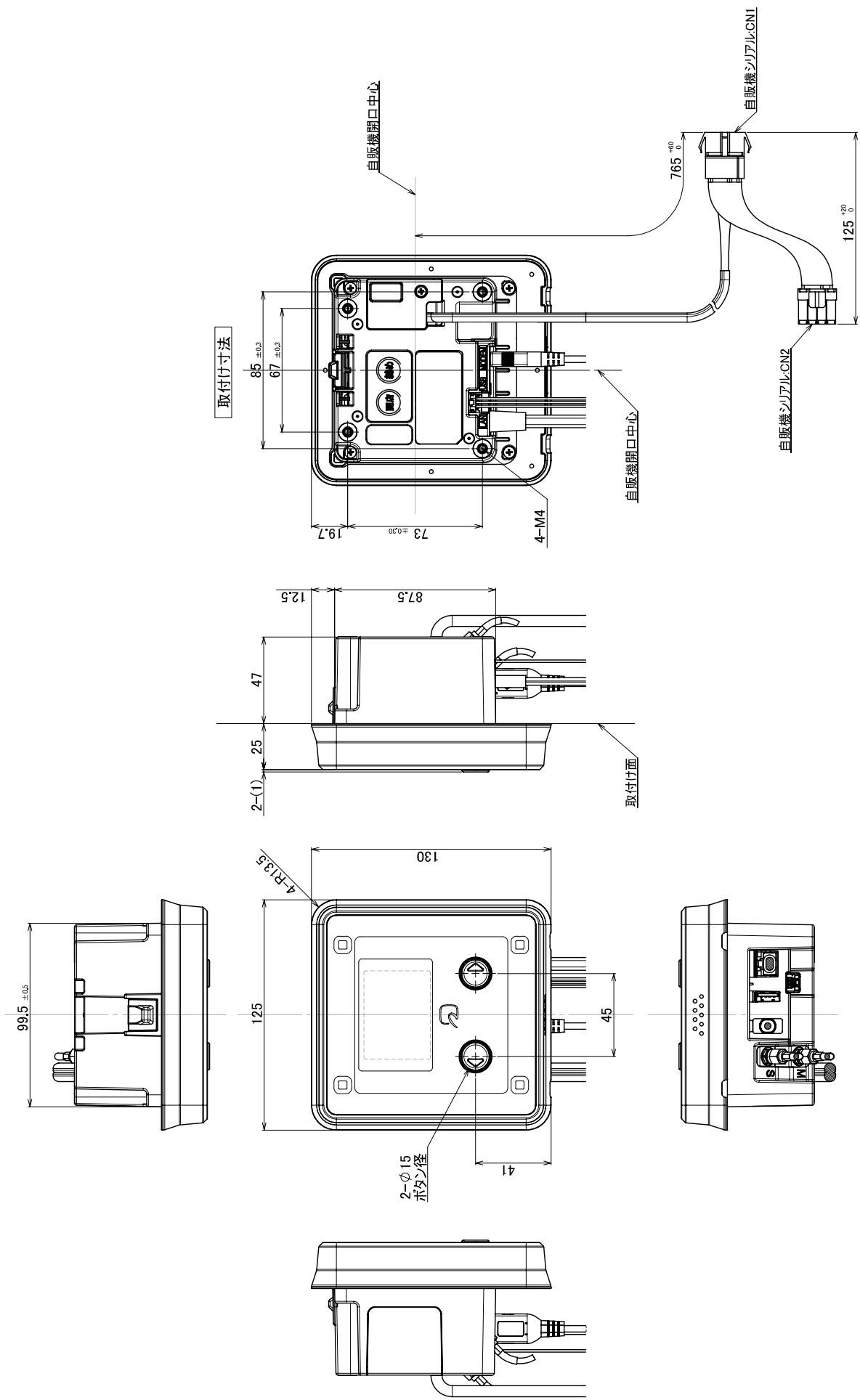
ピン番号	信号名	タイプ	備考
1	RF	MAIN:送受信 SUB:送信	
2	SG	POWER	

23 // 外形寸法図

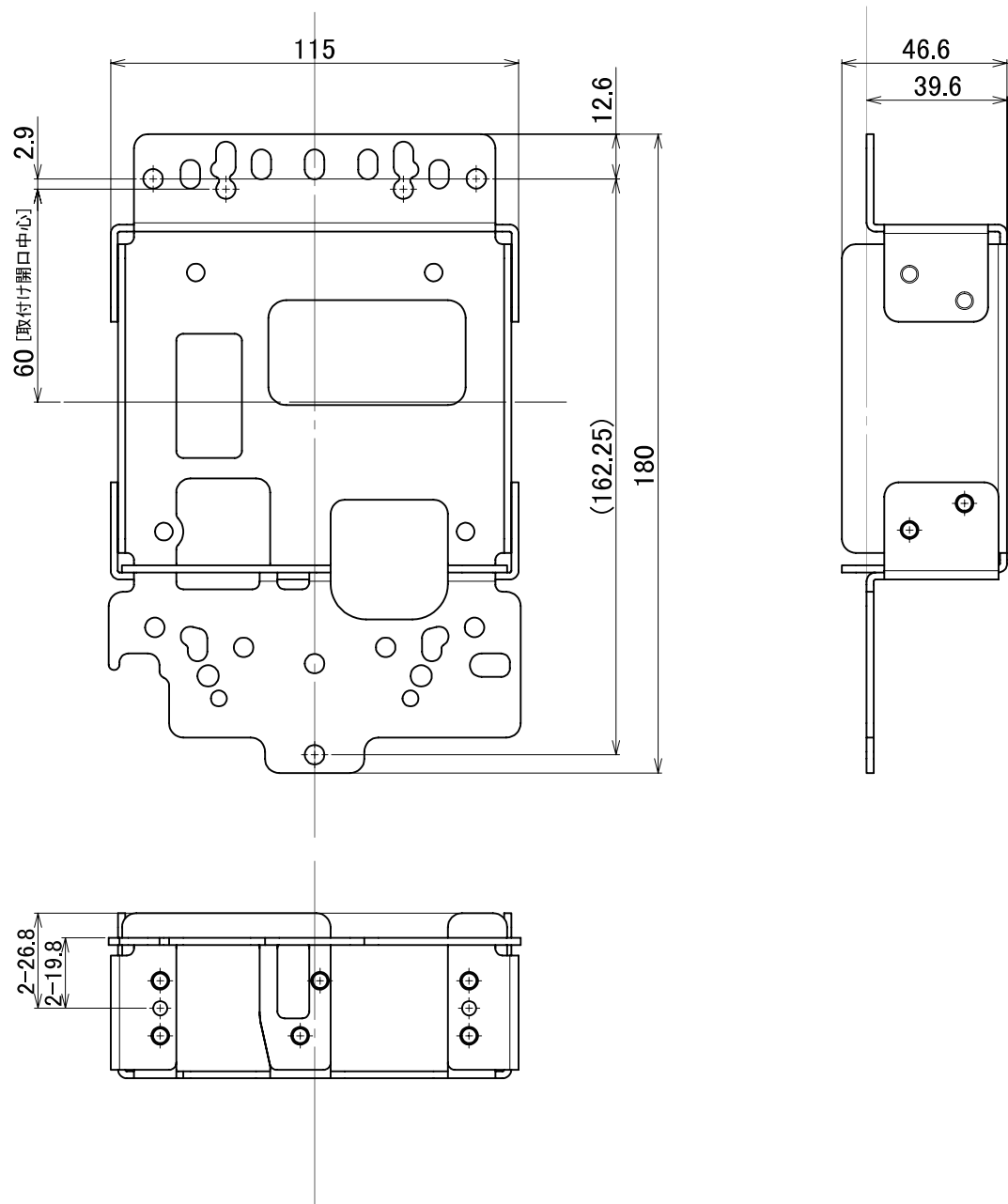
● ME-10-1 (モデム内蔵モデル)



● ME-10-2（モデムなしモデル）



● 取付ブラケット



24 // エラーコード表

エラーコードの表示方法については、18 保守機能 - ⑨ 情報確認 - 8. 決済・
未完了情報表示をご参照ください。

●表示例

2018/10/20 12:50:30

決済情報表示

日時：2018/09/19 11:02:49

決済ID：0000000026

マネー種別：交通系

商品ID：00000000026

引去金額：000026

処理結果：NG

エラーコード：94

次項

戻る

決済結果 NG エラーコード一覧

エラーコード	要因	対応
1028	取引金額が0円	金額設定を確認してください。
1033	取引金額が50,000円を超過	金額設定を確認してください。
88	カード残高不足	カード残高をご確認ください。
817		
1043		
1282		
94		
94	電子マネーかざし時のエラー	もう一度電子マネーをかざしてください 複数枚のカードは同時にかざさないでください。
95		
353		
355		
417		
514		
517		
836		
837		
852		
853		
869		
870		
82	カードに起因するエラー	このカードはご利用できない可能性があります。 カード会社へお問合せください。
83		
85		
86		
87		
90		
91		
92		
93		
111		
305		
354		
505		
511		
512		
519		
522		
524		
768		
769		
770		
771		
772		
774		
784		
785		
786		
787		
788		
816		
1281		
その他	システムエラー	サポートセンターへお問合せください。

改訂履歴

	改訂日	改訂理由
初版	2018 年 11 月 29 日	初版発行
第 2 版	2019 年 5 月 20 日	改訂発行
第 3 版	2019 年 9 月 20 日	改訂発行
第 4 版	2019 年 10 月 1 日	QR コード決済対応
第 5 版	2020 年 1 月 20 日	楽天ペイ決済対応
第 6 版	2020 年 4 月 15 日	改訂発行
第 7 版	2020 年 10 月 1 日	改訂発行
第 8 版	2020 年 12 月 1 日	改訂発行
第 9 版	2021 年 3 月 23 日	改訂発行
第 10 版	2021 年 4 月 7 日	改訂発行
第 11 版	2021 年 12 月 10 日	改訂発行

商標記載

- ※「JVMA」は、「一般社団法人 日本自動販売システム機械工業会 (Japan Vending System Manufacturers Association)」の略称です。
- ※「J-Mups」は、三菱 UFJ ニコス株式会社と JR 東日本メカトロニクス株式会社が運営しているサービスです。
- ※「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。
- ※「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。
- ※「楽天 Edy」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- ※「ID」「おサイフケータイ」は、株式会社 NTT ドコモの商標、または登録商標です。
- ※「nanaco」は、株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。
- ※「WAON」は、イオン株式会社の登録商標です。
- ※「QUICPay」及び「QUICPay+」は、ジェーシービー (JCB) の登録商標です。
- ※「QR コード」は、デンソーウェーブの登録商標です。
- ※「交通系 IC カード」のシンボルマークは、交通系 IC カードの全国相互利用サービスを表しております。全国相互利用 (電子マネー) サービスの対象電子マネーは以下の通りです。
- 「Kitaca」、「PASMO」、「Suica」
「manaca」及び「マナカ」、「TOICA」
「ICOCA」、「はやかけん」、「nimoca」
「SUGOCA」
- ※「Kitaca」は、北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ※「PASMO」は、株式会社パスモの登録商標です。
- ※「Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ※「manaca」「マナカ」は、株式会社名古屋交通開発機構及び株式会社エムアイシーの登録商標です。
- ※「TOICA」は、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ※「ICOCA」は、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ※「はやかけん」は、福岡市交通局の登録商標です。
- ※「nimoca」は、西日本鉄道株式会社の登録商標です。
- ※「SUGOCA」は、九州旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ※「アリペイ (支付宝、Alipay)」は、アリババ (阿里巴巴) グループが提供する決済サービスです。
- ※「WeChat Pay」は、テンセント・ホールディングスが提供する決済サービスです。
- ※「LINE Pay」は、LINE Pay 株式会社が提供する決済サービスです。
- ※「楽天ペイ」は、楽天グループが提供する決済サービスです。
- ※「PayPay」は、PayPay 株式会社の登録商標です。
- ※「メルペイ」は、株式会社メルカリの登録商標です。
- ※「d払い」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

お 願 い

本製品を廃棄する場合は次の注意点を守ってください。

- 廃棄の際は、産業廃棄物処理業者で破棄頂くようお願いします。
- 廃棄の履歴を残し保管お願いします。その際、廃棄によるサービスの解約申請を行うようお願いします。

本製品が、万が一盗難、紛失にあった場合は速やかに弊社担当営業へご連絡ください。盗難、紛失したものが発見され再度利用頂く場合、設定のため有償での修理が必要になります。



ME-10 シリーズ 取扱説明書

2021 年 12 月 10 日 第 11 版発行

本 社 / 本 社 工 場 埼玉県坂戸市千代田 5-3-8
東 京 オ フ ィ ス 東京都千代田区麹町 5 丁目 4 番地 JPR 麹町ビル
西 日 本 支 店 大阪府吹田市江坂町 1-12-40 紙谷新御堂ビル

〒 350-0214	TEL 049-283-1111 (代)
〒 102-0083	TEL 03-3221-8466
〒 564-0063	TEL 06-6338-1271